県立倉吉東高等学校第一体育館改修工事（空調設備）

図面リスト		
図面番号	図面名称	縮　尺
Ｍ－０１	表紙・図面リスト	――
Ｍ－０２	機械設備工事特記仕様書（１）	――
Ｍ－０３	機械設備工事特記仕様書（２）	――
Ｍ－０４	配置図・付近見取図、工事概要	１／１２００
Ｍ－０５	冷暖房設備　機器リスト	――
Ｍ－０６	冷暖房設備　配管・計装系統図	――
Ｍ－０７	冷暖房設備　北側平面図	１／１００
Ｍ－０８	冷暖房設備　南側平面図	１／１００
Ｍ－０９	冷暖房設備　断面詳細図、参考詳細図	１／５０、１５
Ｍ－１０	冷暖房設備　計装配線平面図（第一体育館）	１／１５０
Ｍ－１１	冷暖房設備　計装配線平面図（校舎棟）	１／２００
Ｍ－１２	ガス設備　改修後・撤去　平面図、断面図	１／１５０、１００
Ｍ－１３	ガス設備　バルクタンク平面・断面詳細図	１／３０
Ｅ－０１	電気設備工事特記仕様書（１）	――
Ｅ－０２	電気設備工事特記仕様書（２）	――
Ｅ－０３	動力設備　北側平面図	１／１００
Ｅ－０４	動力設備　南側平面図	１／１００
Ｅ－０５	既設分電盤　改造　結線図、手元開閉器盤　結線図	――
Ｅ－０６	構内情報通信網設備　平面図	１／２００
Ａ－０１	仮設計画図（別途建築工事参考図）	１／５００

鳥取県
令和８年度
J 2502167
総務部営繕課

工事名	図名	縮尺	管理建築士	査図	担当	作図	作図	
県立倉吉東高等学校第一体育館改修工事（空調設備）	表紙・図面リスト	／ ／ ／	赤井	神原	細木	細木		

TBM TECHNICAL BUILDING MANAGEMENT
株式会社 ティビィエム（ティビィエム環境設備設計事務所）
鳥取県米子市目久美町３４番地２
鳥取県知事登録　第０８－８８８号　一級建築士事務所
管理建築士　一級建築士　第344020号（設備設計一級建築士　第4169号）　赤井　優

年月　２０２６．０９
図番　Ｍ ―― ０１
頁 01 / 20 全

機械設備工事特記仕様書

Ⅰ．工事概要

1　工事場所　倉吉市下田中町

2　建物概要

番号	建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積(㎡)	消防法施行令別表第一の区分	備考
1	第一体育館	S造	2階	1,943.23	(　　)項	
2	管理特別教室棟	RC造	3階	2,765.65	(　　)項	
3					(　　)項	
4					(　　)項	
5					(　　)項	

3　工事種目　（◉印の付いたものが対象工事種目）

工事種目＼番号	1	2	3	4	5	屋外	備考
● 空気調和設備							
◉ 冷暖房設備	○						
● 換気設備							
● 排煙設備							
◉ 自動制御設備	○	○					※エアコン、リモコン配線配管工事
● 衛生器具設備							
● 給水設備							
● 排水設備							
● 給湯設備							
◉ ガス設備	○					○	
● 浄化槽設備							
● 消火設備							
● さく井設備							
● 電気設備工事							
● 建築工事							

4　設備概要　（本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。）

◉印の付いたものを適用する。

	項目	設備概要
空気調和・冷暖房設備	● 空気調和設備	● 単一ダクト方式　● 各階ユニット方式　● ダクト併用ファンコイルユニット方式
	◉ 冷暖房設備	● ファンコイルユニット方式　◉ パッケージ方式
	● 暖房設備	● 温水暖房　● 蒸気暖房　● 温風暖房（ ● 局所式　● 中央式 ）　● 床暖房
	◉ 熱源	● 電気　● 灯油　● A重油　◉ ガス　● バイオマス
	◉ 主要熱源機器	● 鋼製ボイラー　● 鋳鉄製ボイラー　● 真空式温水発生機　● 無圧式温水発生器 ● チリングユニット　● スクリュー冷凍機　● 遠心冷凍機　● 吸収式冷凍機 ● 直だき吸収式冷温水機　● 小形吸収式冷温水機ユニット ● バイオマスボイラー　● ルームエアコン ◉ ヒートポンプパッケージエアコン（ マルチタイプ　◉ 有　● 無 ） ● 温風暖房機　● ＦＦ暖房機　● その他（　　）
換気設備		● 第一種　● 第二種　● 第三種
排煙設備		● 機械排煙（ 適用法規　● 建基法　● 消防法 ）
自動制御設備		● 電気式　● 電子式　◉ デジタル式
衛生設備	● 給水設備	給水方式：● 水道直結方式　● 高置水槽方式　● ポンプ直送方式　● 増圧給水方式
		水源：● 水道水　● 井水
	● 排水設備	排水方式：● 自然流下　● ポンプ排水（ ● 汚水　● 雑排水　● 雨水 ）
		放流先　汚水：● 公共下水道　● 浄化槽
		放流先　雑排水：● 公共下水道　● 浄化槽
		放流先　雨水：● 公共下水道　● 側溝　● 河川
		浄化槽　処理方式：● 小規模合併　● 合併
		浄化槽　処理水放流先：● 排水路　● 側溝　● 河川
	● 給湯設備	● 局所式（ ● ガス　● 油　● 電気 ）　● 中央式（ ● 油　● ガス　● 電気 ）
	● 消火設備	● 屋内消火栓　● 屋外消火栓　● 連結送水管　● 連結散水 ● スプリンクラー　● 泡消火　● 粉末消火装置 ● 不活性ガス消火（ ● 窒素　● 窒素系　●　　）　● ハロゲン化物消火
	◉ ガス設備	● 都市ガス（　　MJ/Nm3 ）　◉ 液化石油ガス

Ⅱ．特記仕様

1　一般事項

（1）現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の標準仕様書等のうち、◉印の付いたものによる。

◉ 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和７年版）（以下「標準仕様書」という。）

◉ 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和７年版）（以下「改修標準仕様書」という。）

◉ 公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（令和７年版）（以下「標準図」という。）

（2）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「機械設備工事監理指針（令和７年版）」（以下「監理指針」という。）を適用する。

（3）電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。

2　特記事項

（1）項目は番号に ○ 印の付いたものを適用する。

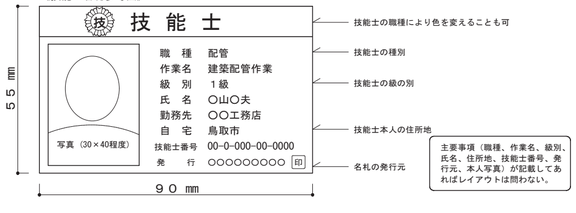
（2）特記事項のうち選択する事項は ◉ 印の付いたものを適用する。

◉ 印の付かない場合は、※ 印の付いたものを適用する。◉ 印と ㊒ 印の付いた場合は両方を適用する。

（3）一般共通事項のうち （1、2、3、11、12、14、15、16、17、18、36） 項は、● 建 築 ● 電気設備　工事特記仕様書による。

	項目	特記事項
一般共通事項	① 官公署その他への手続	工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続き、検査に必要な資機材、労務等を提供する。
	2 電気保安技術者	事業用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、電気主任技術者の業務を補佐する監督職員の指示に従い、当該現場における電気工作物の保安業務を行うものとする。 なお、電気保安技術者の資格は標準仕様書第１編第１章第３節１．３．２によるものとし、一般用電気工作物に係る工事についても、事業用電気工作物の場合と同様の業務を行うものとする。（施設契約電力：　　kW）
	3 工事安全計画書等	建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。
	④ 発生材の分析及び処理	引渡しを要するもの ※ 無し　● 有り（　　） 引渡しを要するもの以外は、構外搬出適切処理とする。 特別管理産業廃棄物 ※ 無し　● 有り（ ● 石綿含有廃棄物　● ＰＣＢ使用機器　●　　） ● 本工事において該当の有無を調査する アスベスト含有設備資機材（ガスケット、パッキン、たわみ継手等の石綿含有廃棄物）は関係法令に従い適切に処理を行う。 ＰＣＢ使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。 撤去予定機器の微量ＰＣＢ分析　※ 無し　● 有り 再生資源化を図るもの ※ 無し　● 有り（ ● コンクリート塊　◉ アスファルトコンクリート塊　●　　）
	⑤ 機材等	本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
	⑥ 機材の品質・性能証明	使用する機材等が、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料を、監督職員に提出する。 ただし、ＪＩＳ、ＪＡＳ又は「給水装置の構造及び材質の基準に関する省令」に適合し、認証機関のマークのある機材を使用する場合及びあらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、証明となる資料の提出を省略することができる。 ただし、標準仕様書に規定される製作図、試験成績等は除く。
	⑦ 機材の承諾図	機械設備工事機材承諾図様式集（令和７年版）を参考とするほか、監督職員の指示による。
	⑧ 図形等の表示	機器類は、図示する形状、配管等などの取出し位置及び製造品番により、特定製造者の製品を指示、限定しない。
	⑨ 機器の能力・容量等	機器類の能力、容量等は、原則として図面に記載されている値以上とする。 電動機出力、燃料消費量等は、原則として図面に記載されている値以下とする。
	⑩ 技能士の適用	下記により適用する技能士は、適用する工事作業中、１名以上の者が自ら作業をするとともに他の技能者に対して施工品質の向上を図るための作業指導を行う。また、そのものが技能士であることが分かる名札（下図参考）を常時着用する。 ◉ 配管　（ ◉ １級　● ２級 ）　◉ 熱絶縁施工　（ ◉ １級　● ２級 ） ◉ 冷凍空気調和機器施工　（ ◉ １級　● ２級 ）　● 建築板金　（ ● １級　● ２級 ）
	⑪ 施工図等	提出した施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。
	⑫ 完成写真等	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「工事写真撮影ガイドブック機械設備工事編　令和５年版」によるほか、監督職員の指示による。下記のものを提出する。

《技能士名札参考図》



区分	分類・規格	撮影箇所	部数	電子データの提出
工事写真	カラー	各工種工程毎	※ １部　● 部	※ 要　● 不要
完成写真	カラー	監督職員の指示による	※ ２部　● 部	※ 要　● 不要

一般共通事項

⑬ 完成図等

次の図書を工事の完成引渡し時に監督職員に提出する。

区分	名称	部数
※ 完成図原図	完成図　● 原紙　※ ＣＡＤデータ　※ ＰＤＦデータ	※ １部
	施工図　● 原紙　※ ＣＡＤデータ　※ ＰＤＦデータ	● 部
※ 完成図　２つ折製本	※ 完成図　※ 完成図（縮小版）	※ ２部
	● 施工図　● 施工図（縮小版）	● 部
※ 完成図書	※ 完成図（縮小版）　※ 主要機器図	※ ２部
※ 市販ファイル（Ａ４版）	※ 試験成績書　※ 保証書（写し）	● 部
● 黒表紙製本（Ａ４版）	※ 官公署の届出書類（写し）	
※ 保守用説明書（Ａ４版ファイル）	※ 保守に関する指導案内書 ※ 主要機器一覧表 ※ 機器取扱説明書	※ ２部 ● 部
※ 保証書（原本）		１部
※ 官公署の届出書類（原本）		１部

※ 原図ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼り付ける。

⑭ 他工事との取合

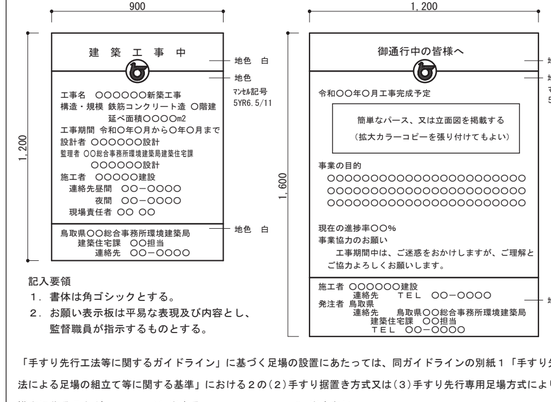
他工事との取り合い		建築	電気設備	機械設備
● コンクリート壁、床、梁貫通部	スリーブ・箱入	●	●	※
	補強	※	●	●
● 鉄骨造の開口及び補強		※	●	●
● 照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート（くぎ処理共）		●	※	●
● 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地		●	※	●
● 埋込分電盤・端子盤・プルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮枠	●	※	●
	補強	※	●	●
● ＯＡフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強		※	●	●
● 埋込形機器取付用の天井・壁の切込加工及び下地の補強	切り込み	●	●	※
	補強	※	●	●
● 自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ		※	●	●
● 電気室、自家発電室などの基礎及びピット（蓋を含む）		※	●	●
◉ 天井点検口		※	●	◉
◉ 機器類のコンクリート基礎	屋内・屋外設置	●	●	※
	屋上設置	※	●	●
● 機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線		●	●	※
◉ 機器用コントロールスイッチ（空調機、給湯器等）の取付及び配線		●	●	※

⑮ 工事用水・電力・その他

本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。

⑯ 表示板

設ける。（寸法等は下図による。建築工事、電気設備工事等と一括して表示する。）



記入要領

1．書体は角ゴシックとする。

2．お願い表示板は平易な表現及び内容とし、監督職員が指示するものとする。

17 足場

「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置にあたっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における２の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

⑱ 工事用仮設物

構内に作ることが　※ 出来る　● 出来ない

⑲ 土工事

（ア）埋め戻し土　◉ 根切土のなかの良質土（ ● コンクリート管以外の管の周囲は山砂の類 ）

● 山砂の類（　　）

● 真砂土（　　）

（イ）建設発生土処分　◉ 構外に搬出　● 構内指定場所に敷ならし　● 構内指定場所に堆積

⑳ 保温工事

配管、ダクト類の保温種別等は、下記若しくは図示による。

● 冷温水管（ ● ロックウール　● グラスウール　● ポリスチレンフォーム　●　　）

● 蒸気管（ ● ロックウール　● グラスウール　●　　）

● 給水管（ ● ロックウール　● グラスウール　● ポリスチレンフォーム　● 保温チューブ（厚さ@　t）　●　　）

● 排水管（ ● ロックウール　● グラスウール　● ポリスチレンフォーム　●　　）

◉ 空調用ドレン管（ ● ロックウール　◉ グラスウール　● 保温チューブ（厚さ@ 10 t）　　）

◉ 冷媒管（ ◉ 冷媒用断熱被覆銅管（JCDA-0009）　●　　）

● 給湯管（ ● ロックウール　● グラスウール　● 保温チューブ（厚さ@　t）　　）

● 消火管（ ● ロックウール　● グラスウール　● ポリスチレンフォーム　●　　）

● ダクト（ ● ロックウール　● グラスウール　●　　）

● 燃焼熱源等機械室内の配管（ ● ロックウール　● グラスウール ）

● 全熱交換機の機器外気側ダクト（ ● 給気側　● 排気側 ）は保温（グラスウール２５mm厚）する。

◉ 冷媒管の保温外装　屋内（ ● 樹脂製化粧ケース　● 合成樹脂製シート　● 塗装亜鉛系めっき鋼板　●　　）

屋外（ ◉ 樹脂製化粧ケース　● ＳＵＳ鋼板　●　　）

鳥取県 令和８年度 J2502167 総務部営繕課

工事名	図名	縮尺	管理建築士	査図	担当	作図	作図
県立倉吉東高等学校第一体育館改修工事（空調設備）	機械設備工事特記仕様書（１）	／ ／ ／	赤井	神原	細木	細木	

TBM TECHNICAL BUILDING MANAGEMENT
株式会社 ティビィエム（ティビィエム環境設備設計事務所）
鳥取県米子市目久美町３４番地２
鳥取県知事登録　第０８－８８８号　一級建築士事務所
管理建築士　一級建築士　第344020号（設備設計一級建築士　第4169号）　赤井　優

年月	図番	頁
２０２６．０９	Ｍ－０２	02／20 全

一般共通事項

21 地中埋設鋼管類の防食処置　※ 標準仕様書（● ペトロラタム系　● プチルゴム系　● 熱収縮チューブ及びシート）による。● 図示による

22 絶縁継手　● 標準図（施工３）　● (1)絶縁フランジ　● (2)絶縁シート　● (3)絶縁スリーブ　● (4)絶縁ユニオン

23 防振継手　※ 合成ゴム製（球形）　● ポリテトラフルオロエチレン製　● ベローズ形（ステンレス製）

24 伸縮管継手　※ ベローズ形　● スリーブ形

㉕ 塗装　塗装は標準仕様書第２編３．２及び図示による。
残りねじ部及びパイプレンチのチャック跡部の鉄面は、さび止めペイント２回塗りを行う。
上記によらず ◉塗装する部分・箇所（　ガス管　）● 塗装しない部分・箇所（　）

26 ステンレス鋼管の接合方法　呼び径６０Ｓｕ以下の継手は、ＳＡＳ３２２を満足する（※ メカニカル型　●　）とする。

27 溶接配管の検査　● ガス配管　● 冷温水配管　● 冷却水配管
非破壊検査の適用（※　浸透探傷検査又は磁粉探傷検査　● 放射線透過検査　● 実施しない　）
抜　取　率（※ 標準仕様書による　●　％　）

28 埋設表示　● 地中埋設標を標準仕様書によるほか図示する箇所に設ける。
● 埋設表示用テープを埋設する。（● ガス管　● 屋外給水管　●　）

㉙ 支持金物・固定金具　ポンプ、屋外設置機器及びピット内に使用するアンカーボルト、ナットはステンレス（ＳＵＳ３０４）製とする。屋外及びピット内の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス（ＳＵＳ３０４）製または溶融亜鉛めっき仕上げとする。

㉚ 総合試運転調整　下記事項の総合調整を行い、測定結果を監督職員に提出する。
◉ 温度　● 湿度　● 風量　● 騒音　● 水量　● 浄化槽放流水質
● 風速　● じんあい　● 飲料水水質（● 一般飲料水適否検査　●　）
● その他水質等（● 雑用水　● 空調用流体　●　）

㉛ アスベスト含有建材の処理　改修標準仕様書　第４章 撤去及び公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）９章 環境配慮改修工事 １節
石綿含有建材の除去工事による。
処理を行うアスベスト含有建材の仕様等

建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲
天井材	化粧石こうボード	管理特別教室棟廊下
外壁吹付塗装	複層塗材	教室棟、管理特別教室棟

※ 県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者を活用するものとする。
※ 官公署その他への手続きは、同仕様書ほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。
◉ 施工調査（分析によるアスベスト含有建材の調査）を行う。
分析方法はＪＩＳ Ａ １４８１「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。
分析調査箇所は下記によるほか図示による。
● 保温材（● 配管 ● 機器）（　検体）　● 設備用シール材（● パッキン ● ガスケット）（　検体）
● 断熱材（　検体）　◉ 建築部材（◉天井材 ● 床材 ◉外壁材 ●　）（２検体）　●
● アスベスト粉じん濃度測定を行う。
（測定時期：　測定場所：　測定点：　）
● 洗浄設備（洗眼、うがいの設備）及び更衣設備等を設ける。
● 作業場の養生として、処理場所をプラスティックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。
対象箇所（　）

㉜ 補修など　工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならい補修する。

㉝ はつり　既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。

㉞ はつり工事における非破壊検査　探査方法　※電磁誘導式または電磁波レーダー法　● 放射線透過検査

35 室内空気中の化学物質の濃度測定　実施する。

㊱ 火災保険等　工事目的物及び工事材料等工事施工途中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。
（保険の加入期限は、工事完成引渡しまで[概ね工期＋21日]とする。）

㊲ グリーン購入　グリーン購入は次のもとのする。
◉ 空調用機器（ エアコン　）　● 衛生器具　（　）
● 断熱材　（　）　● 配管材（ ● 再生硬質ポリ塩化ビニル管 ）　● その他（　）

38 鳥取県公共工事環境配慮指針　対象工事

39 建築物省エネ法　対象工事

㊵ 耐震施工　設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量１ｋＮ以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。
（１）機器の据付け及び取付け
設計用水平地震力は、機器の重量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量）［ｋＮ］に、地域係数と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。

設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	◉ 特定の施設 ● 重要機器	◉ 特定の施設 ◉一般機器	● 一般の施設 ● 重要機器	● 一般の施設 ● 一般機器
上層階 屋上、塔屋	機器	２．０	１．５	１．５	１．０
	防振設置機器	２．０	２．０	２．０	１．５
	水槽類	２．０	１．５	１．５	１．０
中間階	機器	１．５	１．０	１．０	０．６
	防振設置機器	１．５	１．５	１．５	１．０
	水槽類	１．５	１．０	１．０	０．６
地階・１階	機器	１．０	０．６	０．６	０．４
	防振設置機器	１．０	１．０	１．０	０．６
	水槽類	１．５	１．０	１．０	０．６

上層階の定義　２～６階建：最上階、７～９階建：上層２階、10～12階建：上層３階、13階建以上：上層４階
中間階の定義　地階、１階を除く各階で上層階に該当しないもの
重要機器　● 換気機器 ● 空調機器 ● 熱源機器 ● 防災機器 ● 監視制御設備 ● 危険物貯蔵装置
● 火を使用する設備 ● 避難経路上に設置する機器 ● 水槽類（燃料小出槽を含む）
（２）設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の１／２とし、水平地震力と同時に働くものとする。
（３）設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」（（一財）日本建築センター）を参考にする。

㊶ アンカーボルトの引張試験　設備機器のアンカーボルトについて、施工後に引張試験を行う。試験方法等は（ ※ 下記 ● 図示 ）による。
試験方法　◉引張試験機による引張試験　●
確認強度　◉対象機器ごとのアンカーボルト１本に作用する短期の引抜き力以上　●
試験箇所数　◉１施工単位に対し１本以上　●全数　●
対象機器　● 重要機器 ◉空調機器 ● 熱源機器 ● ポンプ ● 換気設備 ● 制御盤類　◉ バルク貯槽

1 空気調和設備

① 設計用温湿度条件

	外気条件 温度（ＤＢ）		外気条件 湿度（ＲＨ）		室内（調整目標値） 一般 温度（ＤＢ）		室内（調整目標値） 一般 湿度（ＲＨ）		室内（調整目標値） （　） 温度（ＤＢ）		室内（調整目標値） （　） 湿度（ＲＨ）	
夏季	３６．０	℃	５０．２	%	２８．０	℃	成り行き	%		℃		%
冬季	－０．４	℃	７８．５	%	１９．０	℃	成り行き	%		℃		%

2 冷却水管　※ ＳＧＰ（白）　● ＳＧＰ－ＶＡ　● ＳＧＰ－ＰＡ

3 冷水・温水・冷温水管　※ ＳＧＰ（白）　● ＳＧＰ－ＨＶＡ　● ステンレス鋼管（SUS304）
● 架橋ポリエチレン管（ファンコイル機器接続部に限る）　● ポリブテン管（ファンコイル機器接続部に限る）

4 膨張・空気抜・補給水管　※ ＳＧＰ（白）　● ステンレス鋼管（SUS304）

5 蒸気給気管　※ ＳＧＰ（黒）

6 蒸気還水管　※ ＳＴＰＧ３７０－Ｓｃｈ４０（黒）　● ステンレス鋼管（SUS304）

7 油・油用通気管　一般配管　※ ＳＧＰ（黒）　地中配管　※ 合成樹脂被覆鋼管

⑧ 冷媒管　※ 冷媒用断熱材被覆銅管

9 空調用給水管　● ステンレス鋼管 ● ＳＧＰ－ＶＡ　●

⑩ 空調用ドレン管　※ ＶＰ　◉ カラーＶＰ（ ◉屋外露出部　●　）　● ＳＧＰ（白）

11 弁類　※ ５Ｋ　● １０Ｋ

12 ファンコイルユニット　※ 流量調整弁　● 定流量弁（ ● ダイヤフラム式流量可変式　● カートリッジオリフィス形 ）を取付ける。

13 ダンパー　（ア）防煙ダンパー　※ 遠隔復帰式　● 電気式　（動作用電圧、電流はＤＣ２４Ｖ、０．７Ａ以下とする。）
（イ）ピストンダンパー　※ 遠隔復帰式　●

14 ダクト　※ 低圧ダクト　● 高圧１ダクト　● 高圧２ダクト
● 長方形ダクト　● コーナーボルト工法（ ● 共板工法　● スライドオンフランジ工法 ）
（長辺１５００㎜を超えるものはアングルフランジ工法とする。）
● アングルフランジ工法
● 防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後１５０㎜を１．６㎜厚鋼板製とする。

15 吹出口・吸込口　ボックス　※ 亜鉛鉄板製　● グラスウール製

16 チャンバー等　シーリングディフューザーの接続は、標準図（施工５０）を参考とする。
接続するダクトの施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。
線状吹出口には、長さ＋１００× ３００ × ３００Ｈの接続チャンバーを設ける。
外壁に面するガラリにチャンバー等を設ける場合には、雨水等を自然に排出できるよう勾配をつける。

17 消音内貼り　吹出口接続チャンバー及び図示したダクト並びにチャンバー類に内貼する。
内貼りチャンバー類の寸法は、外法寸法とする。
吹出口接続チャンバー以外の内貼りしたチャンバーには点検口（原則４００×６００）を取付ける。

18 瞬間流量計及び流量測定口　形式はピトー管式（コック付）とする。　● 着脱式　● 固定式
下記の箇所、若しくは図示により取付ける。
● 冷凍機類の冷水出口　● 瞬間流量計　● 測定用タッピング
● 冷凍機類の冷却水出口　● 瞬間流量計　● 測定用タッピング
● ボイラー又は熱交換器の温水出口　● 瞬間流量計　● 測定用タッピング
● 冷温水ヘッダーの各送り管　● 瞬間流量計　● 測定用タッピング
● ユニット形空気調和機の冷温水入口　● 瞬間流量計　● 測定用タッピング

19 定風量・変風量ユニット　● メカニカル形　● 風速センサー形

20 温度計　機器付属以外の温度計　※ 工業用バイメタル式　● ガード付Ｌ形温度計

21 冷温水管の空気抜き　空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。
※ 手動　● 自動
自動空気抜き弁装置は標準図による。（施工３９（ｇ））
機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から２ｍの範囲とする。

22 空調機用トラップ　トラップ形式はフロートボール式（床置型）　※ ＦＲＰ製保温型　● ＦＲＰ製　● ＳＵＳ製

23 鋼板製煙道　材質及び厚さ　● ＳＳ４００（ ※ ３．２㎜　● ４．５㎜ ）　● ＳＵＳ（ ※ １．５㎜　● ２．０㎜）
煤煙濃度計　● 取付ける　● 取付けない　● 取付座を付ける
煤じん量測定口（８０φ×２）　※ 取付ける　● 取付けない

24 オイルサービスタンク　油面計はゲージ式（側圧計）とする。

25 地下オイルタンク　掘付け方法　● 標準図（施工３３）（二重殻タンク・タンク室無し）　● 標準図（施工３４）（タンク室有り）
タンクの保護被覆　※ 強化プラスチック　● エポキシ樹脂　● アスファルト
基礎杭　※ 不要　● 要（ ※ 別途工事　● 本工事 ）
土留め工事　● 要　● 不要
タンクローリー用アース端子を設ける。

26 油面制御装置　油面制御装置の機能　● 給油ポンプの起動停止　● 満油警報　● 減油警報　●

27 フィルター等付属品　● 機器表特記による。
● 空気調和機のフィルターは、ロールの場合は１本、ユニットの場合は１セットを付属品として納入する。

㉘ パッケージ空調機の能力表示　インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。

29 防振吊り及び支持金物　標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。

㉚ 機器の配線・遮断機仕様等　図示する配線、遮断機の仕様（サイズ、容量等）は参考とし、受注者が採用した機器の製造者仕様に適合させる。
採用機器により仕様や改修範囲に変更が生じた場合は、原則として受注者の負担で施工する。

2 冷暖房設備

3 換気設備

4 排煙設備

1 ダクト　※ 亜鉛鉄板製　● 鋼板製（厚1.6mm）

2 排煙口　形状　● パネル形　● スリット形　● ダンパー形
取付け　● 天井取付　● 壁取付

3 排煙口開放及び復帰方式　電気式（遠隔操作　※ 不要　● 要 ）

4 排煙風量測定　建築設備定期検査業務基準書2023年版（（一財）日本建築設備・昇降機センター）の検査方法に準ずる。

⑤ 自動制御設備

1 中央監視制御盤装置　● 有り（構成機能は、図示による）　● 無し

2 電源装置　● 要（ ● 本工事　● 別途工事 ）　● 不要

3 温度調節器等　取付高さ　※ １３００mm　●　㎜

④ 計装工事の配線　◉ 屋外、屋内露出の配線は、図面に表記のない限り金属管配線とする。
◉ 天井隠ぺいの配線は、図面に表記のない限りケーブル配線とする。

6 衛生器具設備

1 衛生器具の参考型番　型番変更等により参考型番が変更又は廃止されている場合、参考型番の同等品とする。

2 小便器用節水装置　※ 小便器一体型　● 小便器分離型
● 洗浄水量４リットル／回以下
※ 個別感知方式　（ ● ＡＣ電源　● 自己発電　● 乾電池 ）　● 手動式

3 自動水栓　電源供給方式　● ＡＣ電源　● 自己発電　● 乾電池

4 大便器洗浄弁　操作方式　● 電気開閉式　（ ● センサー式　● タッチスイッチ式 ）　● 手動式

5 温水洗浄便座　洗浄用水加温方式　● 瞬間式　● 貯湯式

6 衛生器具の取付高さ　※ 標準図（施工６５）を参考に現場で調整、決定する　●

7 器具と排水管接続　※ 標準図（施工６６）による　●

7 給水設備

1 量水器　● 親メーター　※ 借用　● 買取　（ ※ 直読　● 遠隔表示 ）
● 子メーター　※ 買取　● 借用　（ ※ 直読　● 遠隔表示 ）

2 配管材料　（ア）一般配管　● ＳＧＰ－ＶＢ　● ＳＧＰ－ＰＢ　● ＳＵＳ３０４　● ＳＵＳ３１６
● ＨＩＶＰ　● 架橋ポリエチレン管
（イ）土間下配管　● ＳＧＰ－ＶＤ　● ＳＧＰ－ＰＤ　● ＨＩＶＰ　● ＳＵＳ３０４　● ＳＵＳ３１６
（ウ）地中配管　● ＳＧＰ－ＶＤ　● ＳＧＰ－ＰＤ　● ＨＩＶＰ　● ＳＵＳ３０４　● ＳＵＳ３１６
● 水道配水用ポリエチレン管（７５～１００Ａ）　● 水道用ポリエチレン二層管（５０Ａ以下）
（エ）特記なき給水管の最小口径は20Ａとする。
（オ）ビニル管の接合方法　※ 接着接合　● ゴム輪接合（直管以外の継手部には離脱防止金具取付とする。）
（カ）ポリエチレン管の接合方法　50Ａ以下　※ 金属製継手　●融着継手　75Ａ以上　※ 融着継手

3 弁類　※ 口径６５Ａ以上の仕切弁及び逆止弁は、ライニング弁とする。
● ５Ｋ（受水槽以降の配管に使用）　● １０Ｋ（公営水道に直結する配管に使用）
● 公営水道事業者指定の止水栓又は弁（給水引込部に使用）

4 水槽のマンホール　屋外に設置する水槽のマンホール蓋は保温形（二重蓋含む）とする。

8 排水設備

1 配管材料　（ア）屋内汚水管　● ＶＰ　● ＲＦ－ＶＰ　● 排水用塩ビライニング鋼管　● 耐火二層管
（イ）屋内雑排水管　● ＶＰ　● ＲＦ－ＶＰ　● ＳＧＰ（白）　● 排水用塩ビライニング鋼管
● 耐火二層管
（ウ）ポンプ排水管　● ＶＰ（水道用）　● ＨＩＶＰ　● 排水用塩ビライニング鋼管（圧送排水鋼管用継手）
（エ）通気管　● ＶＰ　● ＲＦ－ＶＰ　● ＳＧＰ（白）　● 排水用塩ビライニング鋼管
（オ）屋外排水管　● ＶＰ　● ＲＦ－ＶＰ　● ＶＵ（地中）　● ＲＥＰ－ＶＵ（地中）
● ＲＳ－ＶＵ　● 卵形管　● コンクリート管

2 満水試験継手　３階以上にわたる排水管立て管に満水試験継手を　※ 取付ける　● 取付けない

3 パイプシャフト内配管の保温　※ 施工する　● 施工しない

4 煙試験　※ 行わなくてもよい　● 図示の系統のみ行う

9 給湯設備

1 配管材料　● ＳＧＰ－ＨＶＡ　● ステンレス鋼管　● 架橋ポリエチレン管
● 保温付被覆銅管　● 銅管
湯沸器、給湯機廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。

2 弁類　※ ５Ｋ　● １０Ｋ

10 消火設備

1 配管材料　（ア）一般配管　● ＳＧＰ（白）　● ＳＴＰＧ
（イ）土間下配管　● ＳＧＰ－ＶＳ　● ＳＴＰＧ－ＶＳ
（ウ）地中配管　● ＳＧＰ－ＶＳ　● ＳＴＰＧ－ＶＳ

2 弁類　※ １０Ｋ　● １６Ｋ

3 保温　（ア）呼水タンク　※ 施工しない　● 施工する
（イ）充水タンク　※ 施工しない　● 施工する
（ウ）配管の保温は次による。（屋外露出箇所は種別ｅ２・（ウ）・Ⅶによる　● 施工しない ）
● 屋内消火栓用（※ 施工しない　● 施工する ）　● スプリンクラー用（ ※ 施工しない　● 施工する ）
● 連結送水用　（※ 施工しない　● 施工する ）　● 連結散水用　（ ※ 施工しない　● 施工する ）

4 屋内消火栓　● 広範囲型２号消火栓　● 易操作性１号消火栓　● 屋内消火栓（ ● １号　● ２号 ）

5 ガス系消火剤の種類　● 窒素　● ＩＧ－５４１　● ＩＧ－５５　● ＨＦＣ－２２７ｅａ　● ＨＦＣ－２３

6 ガス系消火の起動方式　※ 手動　● 自動手動切替式

⑪ ガス設備

1 都市ガス設備　都市ガスはガス供給事業者の供給約款による。

② 配管材料　（ア）一般配管　※ ＳＧＰ（白）　● 合成樹脂被覆鋼管
（イ）土間下配管　※ 合成樹脂被覆鋼管
（ウ）地中配管　※ 合成樹脂被覆鋼管　● ガス用ポリエチレン管

③ ガスメータ　● 親メーター　※ 借用　● 買取　（取付け　※ 別途　● 本工事 ）
● 子メーター　※ 買取　● 借用　（取付け　※ 本工事　● 別途 ）

④ バルク貯槽　◉ 縦型　● 横型　● 借用　◉ 買取

5 容器廻りの配管　● 標準図（施工７４）の　● 要領（ａ）　● 要領（ｂ）　● 要領（ｃ）

6 容器転倒防止　● 標準図（施工７５）の　● 要領（ａ）　● 要領（ｂ）

7 ガス漏れ警報器　● 不要　● 要（ ※ 別途工事　● 本工事 ）

12 浄化槽設備

1 処理種別及び方式　● 小規模合併処理（ ● 分離接触ばっ気方式　● 嫌気ろ床接触ばっ気方式　● 脱窒ろ床接触ばっ気方式
● その他性能評価を受けた方式（　））
● 合併処理　（ ● 接触ばっ気方式　● 長時間ばっ気方式　● 回転板接触方式 ）

2 型式　● ユニット型　● 現場施工型

3 処理能力　● 処理対象人員　人　● 処理水量　ｍ３／ｄ

4 放流水の水質　● 流入ＢＯＤ　２００ｍｇ／Ｌ　● 放流水質ＢＯＤ　２０ｍｇ／Ｌ以下
● Ｔ－Ｎ　ｍｇ／Ｌ以下　● Ｔ－Ｐ　ｍｇ／Ｌ以下

5 排水方式　※ 自然流下　● ポンプ排水

6 埋戻し土　● 砂　● 根切土の中の良質土

7 土留め工事　● 不要　● 要（図示による）

8 マンホールふた　※ 製造者標準仕様（ロック式）　● ＭＨＡ型（ボルト式）

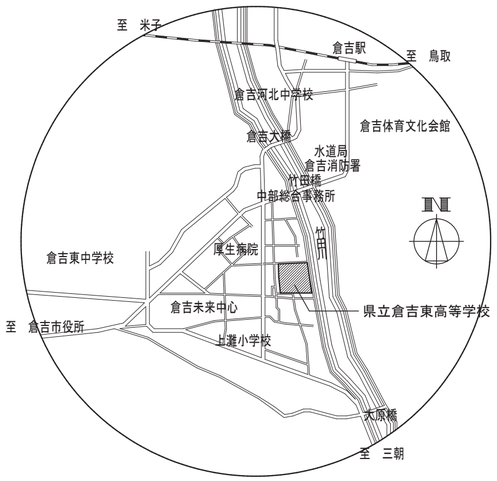
9 消毒薬　３ヶ月相当分を納入する。

鳥取県
令和８年度
J 2502167
総務部営繕課

工事名	図名	縮尺	管理建築士	査図	担当	作図	作図
県立倉吉東高等学校第一体育館改修工事（空調設備）	機械設備工事特記仕様書（２）	／ ／ ／	赤井	神原	細木	細木	

TBM TECHNICAL BUILDING MANAGEMENT
株式会社 ティビィエム（ティビィエム環境設備設計事務所）
鳥取県米子市目久美町３４番地２
鳥取県知事登録　第０８－８８８号　一級建築士事務所
管理建築士　一級建築士　第344020号（設備設計一級建築士　第4169号）　赤井　優

年月　２０２６．０９
図番　Ｍ －― ０３
頁 03 / 20 全



付近見取図

■工事概要一覧表■

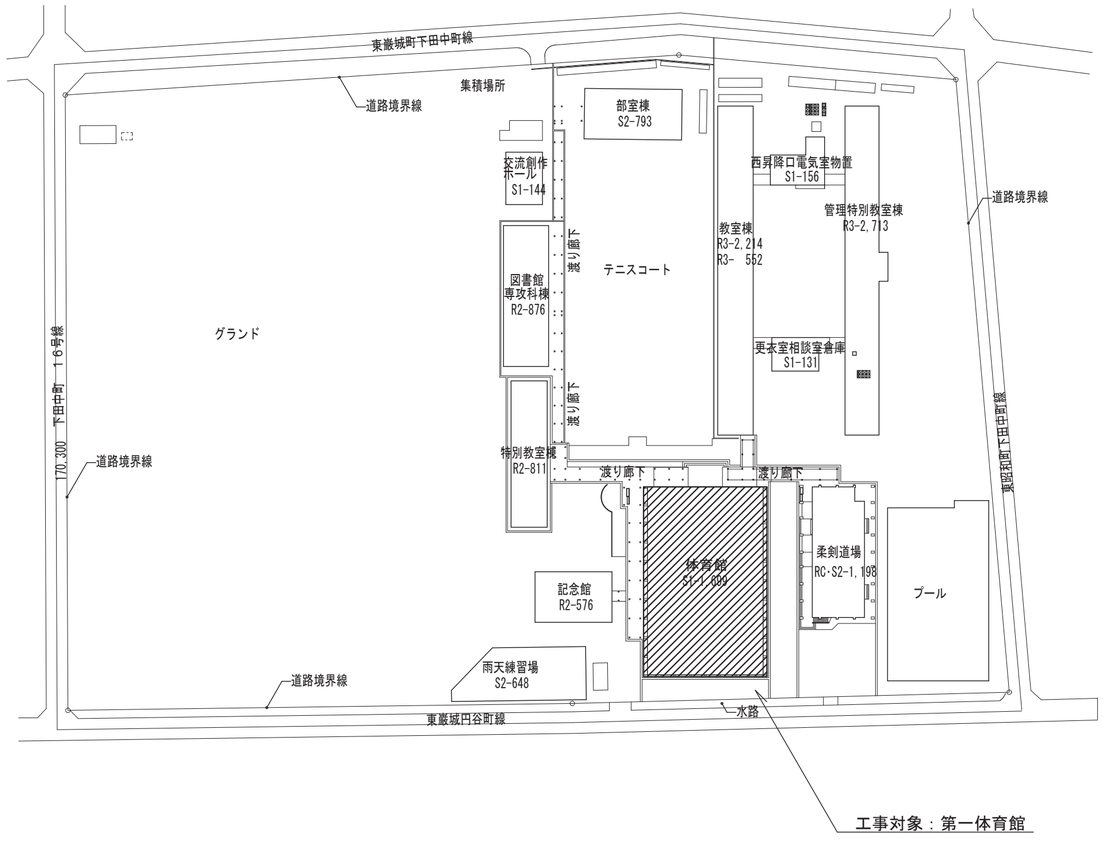
名　称	工種	構造・階数	備　考
第一体育館	改修	Ｓ造・２階	県立倉吉東高等学校第一体育館に冷暖房設備を設置 ・ガス式ヒートポンプエアコン新設（室内機１６台、室外機４台） ・管理特別教室棟に集中管理リモコンの新設 ・ガスバルク貯槽新設 ・上記に伴う、配管設備・自動制御設備・ガス設備工事一式

【特記】

１．施設を使用しながらの工事になるため、学校運営に支障のない工事計画・安全計画とすること。
２．騒音・振動・粉じん等が発生する作業や搬入出作業等については、時期を明確にし、学校側と調整を行い、運営に配慮した実施計画とすること。
３．機材等の搬入出に際して、既存仕上げ物等を損傷させないように養生を行い、十分注意して施工を行うこと。
４．クレーン作業等で駐車場スペースを利用する際は、事前に学校側と調整を行い、安全管理には十分配慮すること。
５．別途工事業者（建築工事）との相互調整を行い、必要な施工管理等を適切に実施すること。

※冷暖房試運転時の温度測定について

１．受注者は、各冷暖房機器の個別運転調整後に総合試運転調整として、体育館内の温度測定を行う。
　時間経過に伴う温度変化を測定・記録し、その結果を取りまとめて監督員に提出すること。なお、具体的な計測位置及び計測時間は事前に監督員と協議すること。
２．外気温が設計外気条件に達しない場合は、適期に冷暖房試運転調整を行う旨の「請書」を提出すること。



全　体　配　置　図　　S=1/1200

鳥取県
令和８年度
J 2502167
総務部営繕課

工事名	図名	縮尺	管理建築士	査図	担当	作図	作図
県立倉吉東高等学校第一体育館改修工事（空調設備）	配置図・付近見取図、工事概要	1/1200	赤井	神原	細木	細木	

TBM TECHNICAL BUILDING MANAGEMENT
株式会社 ティビィエム（ティビィエム環境設備設計事務所）
鳥取県米子市目久美町３４番地２
鳥取県知事登録　第０８－８８８号　一級建築士事務所
管理建築士　一級建築士　第344020号（設備設計一級建築士　第4169号）　赤井　優

年月　２０２６．０９
図番　M ― ０４
頁　04　20　全

冷暖房機器リスト

記号	名称	仕様		φ	V	参考電気容量 出力(kW)		数量	設置場所・備考
GHP－1	ガスヒートポンプ式マルチエアコン	室外機	冷暖房切替形、冷媒R32、臭気低減機能付	1	200	COMP	0.03	1	屋外（北・舞台側）
		能力	冷房定格：71.0kW、暖房定格：80.0kW			FAN	0.75×2		
		燃料消費量	プロパンガス　冷房：52.4kW　暖房：57.7kW						
		付属品	スプリング防振架台、冷媒用分岐管、防雪ネット（吹出側）、単相キット、他付属品共						
		消費電力	冷房定格：1.77kW、暖房定格：0.75kW						
GHP 1－1	ガスヒートポンプ式マルチエアコン	室内機	天井吊形（160形）	1	200	FAN	0.129	4	第一体育館（北･舞台側）
		能力	冷房：16.0kW、暖房：18.0kW						
		付属品	ロングライフフィルター、室内機用防球ガード、他付属品共						
			ワイヤードリモコン					1	器具庫－1
		消費電力	冷房定格：0.16kW、暖房定格：0.16kW						
GHP－2	ガスヒートポンプ式マルチエアコン	室外機	冷暖房切替形、冷媒R32、臭気低減機能付	1	200	COMP	0.03	1	屋外（北・入口側）
		能力	冷房定格：71.0kW、暖房定格：80.0kW			FAN	0.75×2		
		燃料消費量	プロパンガス　冷房：52.4kW　暖房：57.7kW						
		付属品	スプリング防振架台、冷媒用分岐管、防雪ネット（吹出側）、単相キット、他付属品共						
		消費電力	冷房定格：1.77kW、暖房定格：0.75kW						
GHP 2－1	ガスヒートポンプ式マルチエアコン	室内機	天井吊形（160形）		200	FAN	0.129	4	第一体育館（北･入口側）
		能力	冷房：16.0kW、暖房：18.0kW						
		付属品	ロングライフフィルター、室内機用防球ガード、他付属品共						
			ワイヤードリモコン					1	器具庫－1
		消費電力	冷房定格：0.16kW、暖房定格：0.16kW						
GHP－3	ガスヒートポンプ式マルチエアコン	室外機	冷暖房切替形、冷媒R32、臭気低減機能付	1	200	COMP	0.03	1	屋外（南・舞台側）
		能力	冷房定格：71.0kW、暖房定格：80.0kW			FAN	0.75×2		
		燃料消費量	プロパンガス　冷房：52.4kW　暖房：57.7kW						
		付属品	スプリング防振架台、冷媒用分岐管、防雪ネット（吹出側）、単相キット、他付属品共						
		消費電力	冷房定格：1.77kW、暖房定格：0.75kW						
GHP 3－1	ガスヒートポンプ式マルチエアコン	室内機	天井吊形（160形）	1	200	FAN	0.129	4	第一体育館（南･舞台側）
		能力	冷房：16.0kW、暖房：18.0kW						
		付属品	ロングライフフィルター、室内機用防球ガード、他付属品共						
			ワイヤードリモコン					1	器具庫－1
		消費電力	冷房定格：0.16kW、暖房定格：0.16kW						
GHP－4	ガスヒートポンプ式マルチエアコン	室外機	冷暖房切替形、冷媒R32、臭気低減機能付	1	200	COMP	0.03	1	屋外（南・入口側）
		能力	冷房定格：71.0kW、暖房定格：80.0kW			FAN	0.75×2		
		燃料消費量	プロパンガス　冷房：52.4kW　暖房：57.7kW						
		付属品	スプリング防振架台、冷媒用分岐管、防雪ネット（吹出側）、単相キット、他付属品共						
		消費電力	冷房定格：1.77kW、暖房定格：0.75kW						
GHP 4－1	ガスヒートポンプ式マルチエアコン	室内機	天井吊形（160形）	1	200	FAN	0.129	4	第一体育館（南･入口側）
		能力	冷房：16.0kW、暖房：18.0kW						
		付属品	ロングライフフィルター、室内機用防球ガード、他付属品共						
			ワイヤードリモコン					1	器具庫－1
		消費電力	冷房定格：0.16kW、暖房定格：0.16kW						
CR	集中管理リモコン	形式	システムコントローラー（液晶タッチパネルタイプ）	1	100			1	事務室
		機能	室内ユニット最大128台、運転・停止、温度設定、スケジュール運転、異常表示、						（管理特別教室棟）
			運転モード切替、冷媒漏洩警報機能、他付属品共						

【特記事項】

1．エアコンの冷暖房能力はＪＩＳ標準条件（ＪＩＳ Ｂ ８６２７）とし、記載数値以上を採用する。
2．エアコンはグリーン購入法適合品とする。
3．ワイヤードリモコンは室内機４台に１個とする。
4．図中の電気容量は機器を特定するものではなく、参考値とする。
5．機器はメーカー標準品とする。

改修後　凡例

記号	名称	摘要
——R——	冷媒管	冷媒配管用被覆断熱銅管
——D——	ドレン管	硬質塩化ビニル管（VP）（ＪＩＳ Ｋ ６７４１）

配管保温凡例

配管名	施工場所	仕様
冷媒管	屋外露出	樹脂製化粧カバー
排水管	屋外露出(南側渡り廊下)	グラスウール20t＋溶融アルミニウム亜鉛鉄板

特記事項

・冷媒管の口径は製造者の標準仕様とする。なお、冷媒分岐継手等は付属とする。
・冷媒管、ドレン管、制御線は採用する採用メーカーの仕様に合わせること。
・冷媒管の延長距離に応じて、適切に冷媒追加充填を行うこと。
・屋外露出部のドレン管はカラーＶＰとする。
・図中の二次側電気工事の仕様は、製造者を特定しないものとし参考とする。
・室外機のあと施工アンカーは引張強度試験を行うこと。（１台あたり１本）
・室外機の搬入・設置はトラッククレーン(4.9t)を使用する。
・作業の際は粉塵等に注意し、十分に養生を行うこと。

冷媒配管寸法リスト

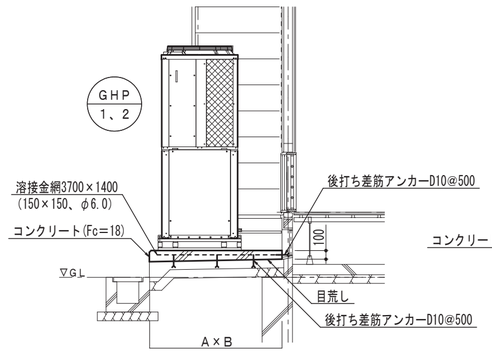
記号	液管	ガス管
(R1)	φ 9.52	φ15.88
(R2)	φ 9.52	φ22.22
(R3)	φ12.70	φ28.58
(R4)	φ15.88	φ28.58

※冷媒配管サイズは参考とする

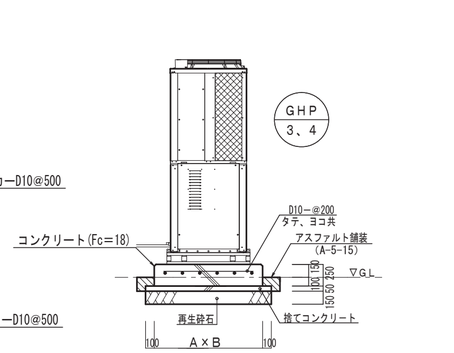
室外機基礎寸法

番号	A	B	高さ	数量
①	3,800	1,530	100	1
②	3,700	1,300	250	1

※基礎寸法・固定位置等は、採用機器に合わせて施工すること。
※基礎に水溜まりが出来ないよう水平にする。
※基礎コンクリート：Fc=18N／mm2
※機器基礎：ＪＩＳ１類使用



室外機用基礎①



※既設コンクリート撤去（2900×1400×150H）
（旧受水槽コンクリート基礎跡）

室外機用基礎②

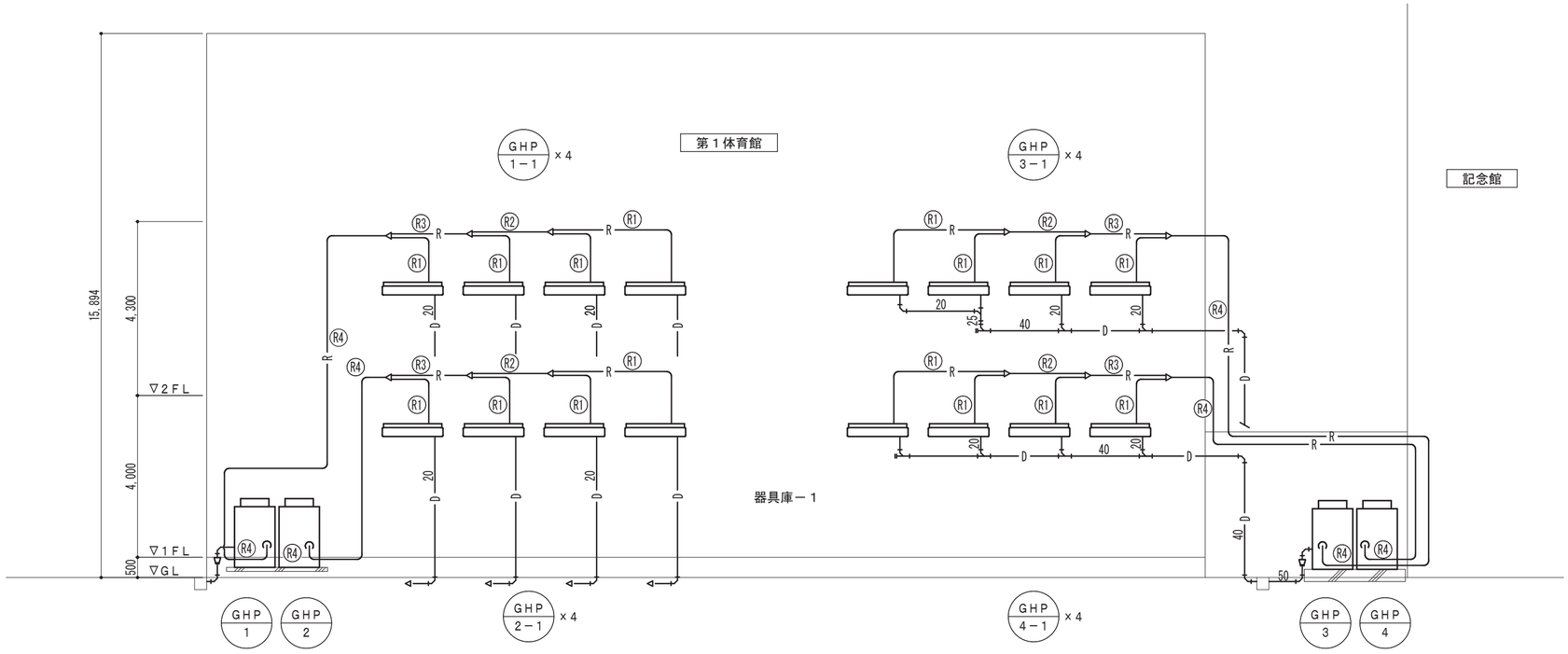
鳥取県
令和８年度
J 2502167
総務部営繕課

工事名	図名	縮尺	管理建築士	査図	担当	作図	作図
県立倉吉東高等学校第一体育館改修工事（空調設備）	冷暖房設備　機器リスト	／ ／ ／	赤井	神原	細木	細木	

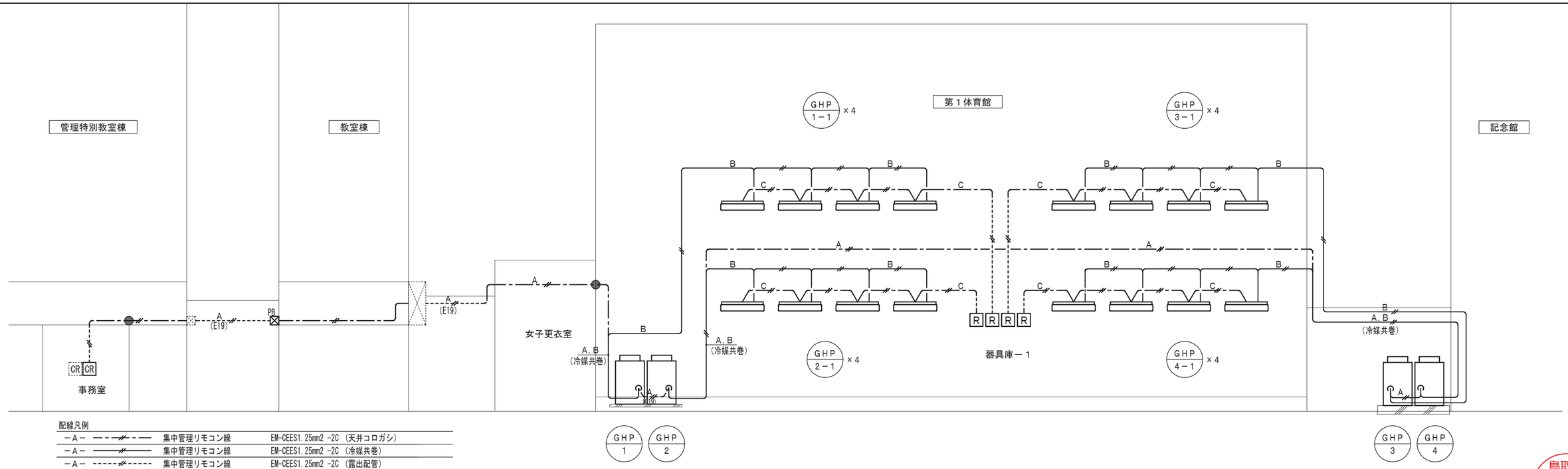
TBM TECHNICAL BUILDING MANAGEMENT
株式会社 ティビィエム（ティビィエム環境設備設計事務所）
鳥取県米子市目久美町３４番地２
鳥取県知事登録　第０８－８８８号　一級建築士事務所
管理建築士　一級建築士　第344020号（設備設計一級建築士　第4169号）　赤井 優

年月 ２０２６．０９
図番 M ―― ０５
頁 05／20 全

冷媒配管寸法リスト		
記号	液　管	ガス管
(R1)	φ 9.52	φ15.88
(R2)	φ 9.52	φ22.22
(R3)	φ12.70	φ28.58
(R4)	φ15.88	φ28.58
※冷媒配管サイズは参考とする		



冷暖房設備　配管系統図



冷暖房設備　計装系統図

配線凡例

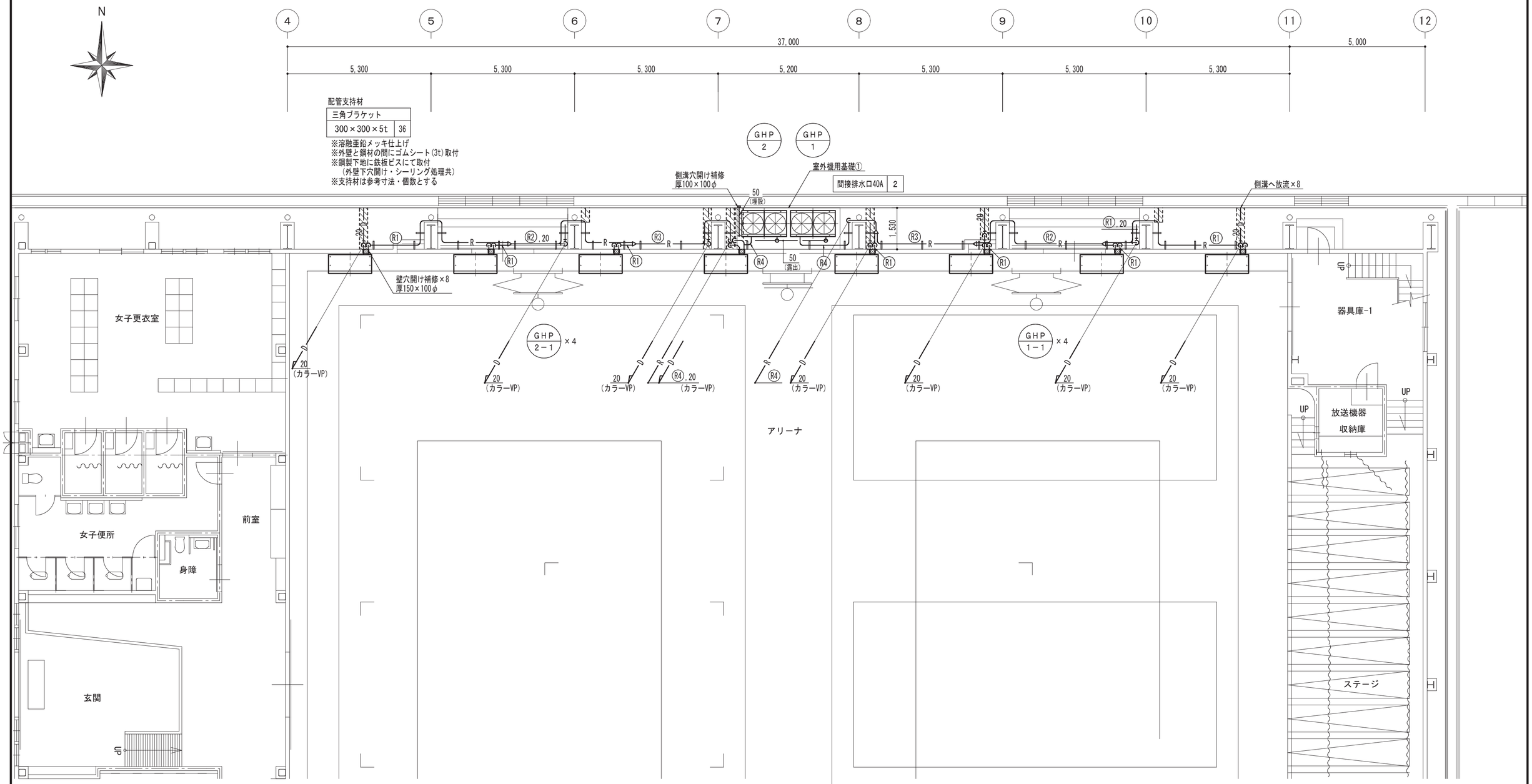
－A－	集中管理リモコン線	EM-CEES1.25mm2 -2C (天井コロガシ)
－A－	集中管理リモコン線	EM-CEES1.25mm2 -2C (冷媒共巻)
－A－	集中管理リモコン線	EM-CEES1.25mm2 -2C (露出配管)
－B－	室内外渡り線	EM-CEES1.25mm2 -2C (冷媒共巻)
－C－	エアコン用リモコン線	EM-MEES0.75mm2 -2C (天井コロガシ)
－C－	エアコン用リモコン線	EM-MEES0.75mm2 -2C (露出配管)

鳥取県
令和８年度
J 2502167
総務部営繕課

工事名	図名	縮尺	管理建築士	査図	担当	作図	作図
県立倉吉東高等学校第一体育館改修工事（空調設備）	冷暖房設備　配管・計装系統図	／ ／ ／	赤井	神原	細木	細木	

TBM TECHNICAL BUILDING MANAGEMENT
株式会社 ティビィエム （ティビィエム環境設備設計事務所）
鳥取県米子市目久美町３４番地２
鳥取県知事登録　第０８－８８８号　一級建築士事務所
管理建築士　一級建築士　第344020号（設備設計一級建築士　第4169号）　赤井　優

年月　２０２６．０９
図番　Ｍ －－ ０６
頁 06 / 20 全



冷暖房設備　北側平面図　S＝１／100

特記事項

1. ▨ 部分は犬走コンクリートはつり復旧範囲を示す。
W=200程度、カッター切断・溶接金網敷き共

鳥取県
令和８年度
J 2502167
総務部営繕課

工事名	図名	縮尺	管理建築士	査図	担当	作図	作図
県立倉吉東高等学校第一体育館改修工事（空調設備）	冷暖房設備　北側平面図	1／100	赤井	神原	細木	細木	

TBM TECHNICAL BUILDING MANAGEMENT
株式会社 ティビィエム （ティビィエム環境設備設計事務所）
鳥取県米子市目久美町３４番地２
鳥取県知事登録　第０８－８８８号　一級建築士事務所
管理建築士　一級建築士　第344020号（設備設計一級建築士　第4169号）　赤井　優

年月　２０２６．０９

図番　M ── ０７

男子便所
前室
男子更衣室
UP
アリーナ
ステージ
器具庫-2
GHP 4－1 ×4
GHP 3－1 ×4
壁穴開け補修×8
厚150×100φ
R1
R2
R3
R4
R6
R·D
R
D
20
40
25
GHP 4
GHP 3
渡り廊下
側溝穴開け補修
厚100×100φ
側溝へ放流
側溝穴開け補修
厚100×80φ
φ40
（カラーVP）
アスファルト舗装
(A-5-15)
室外機用基礎②
レンガブロック取外し・再取付
(1.7㎡程度)
門型ブラケット×2
(350×300H、プラベース付)
間接排水口40A 2
記念館
600
10,600
N
配管支持材
三角ブラケット
300×300×5t 38
※溶融亜鉛メッキ仕上げ
※外壁と鋼材の間にゴムシート(3t)取付
※鋼製下地に鉄板ビスにて取付
（外壁下穴開け・シーリング処理共）
※支持材は参考寸法・個数とする
5,300
5,200
5,000
37,000
4
5
6
7
8
9
10
11
12

冷暖房設備　南側平面図　S＝１／100

特記事項

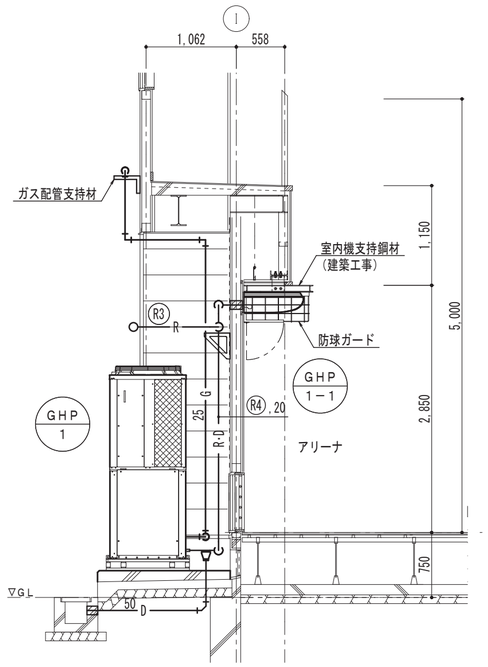
1. ▨ 部分はアスファルト舗装撤去、復旧範囲を示す。
2. ▨ 部分は犬走コンクリートはつり復旧範囲を示す。
   W＝200程度、カッター切断・溶接金網敷き共
3. 渡り廊下通路部のドレン管は保温を行うこと。
4. 渡り廊下の配管支持は型鋼用吊り金具で施工する。

鳥取県
令和８年度
J 2502167
総務部営繕課

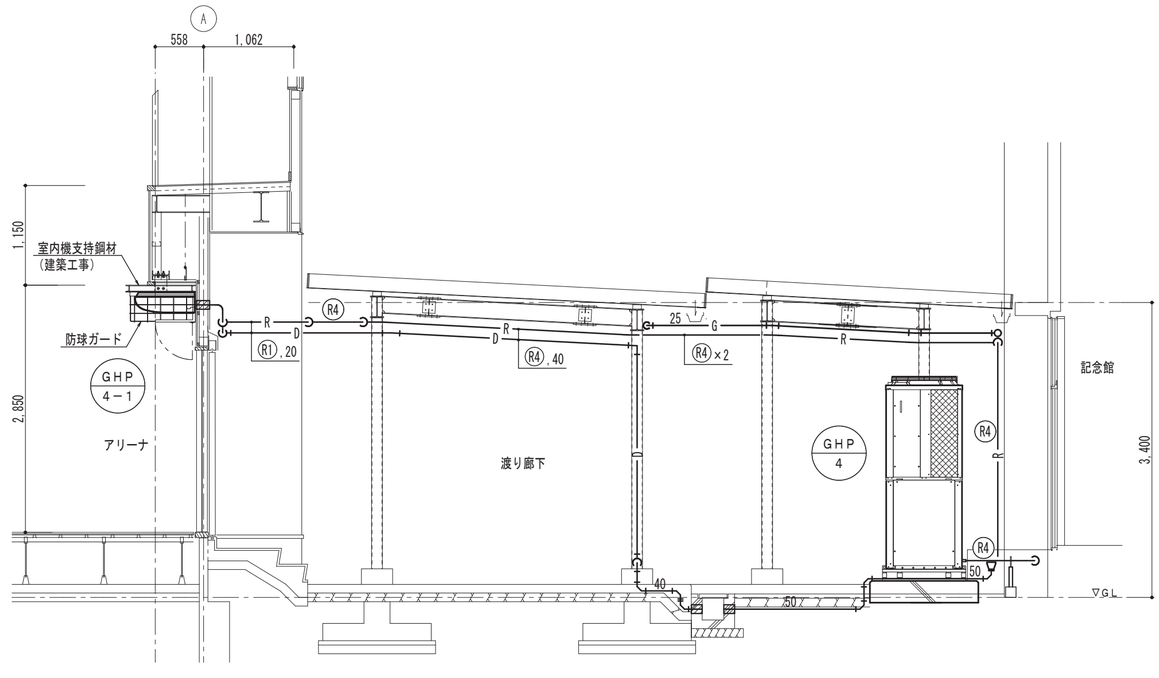
工事名	図名	縮尺	管理建築士	査図	担当	作図	作図
県立倉吉東高等学校第一体育館改修工事（空調設備）	冷暖房設備　南側平面図	1／100	赤井	神原	細木	細木	

TBM TECHNICAL BUILDING MANAGEMENT
株式会社 ティビィエム（ティビィエム環境設備設計事務所）
鳥取県米子市目久美町３４番地２
鳥取県知事登録　第０８－８８８号　一級建築士事務所
管理建築士　一級建築士　第344020号（設備設計一級建築士　第4169号）　赤井　優

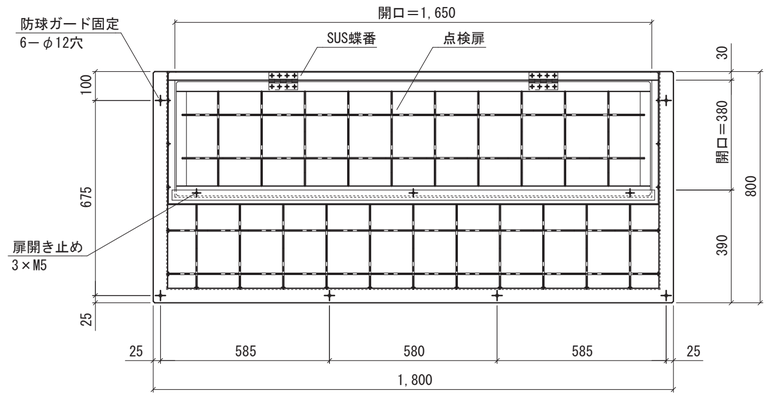
年月　２０２６．０９
図番　M ―― ０８
頁 08 / 20 全



北側　断面詳細図　S＝１／50



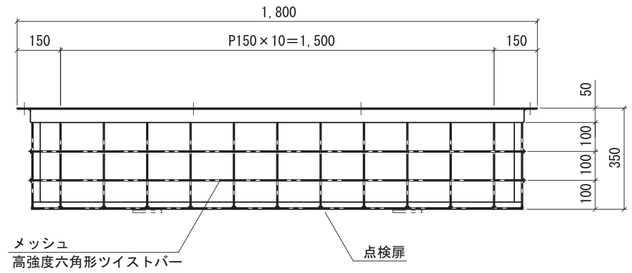
南側渡り廊下　断面詳細図　S＝１／50



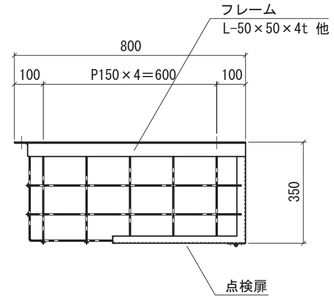
平　面　図

【 天吊り用防球ガード底面扉型 】
高強度六角形ツイストバー5mm仕様
（※参考品番：SFBT18-S）

材　　質	SS400、SPHC-P
表面処理	FF塗装
塗 装 色	2.5Y 9/1



正　面　図



側　面　図

防球ガード参考詳細図　S＝１／15

鳥取県
令和８年度
J 2502167
総務部営繕課

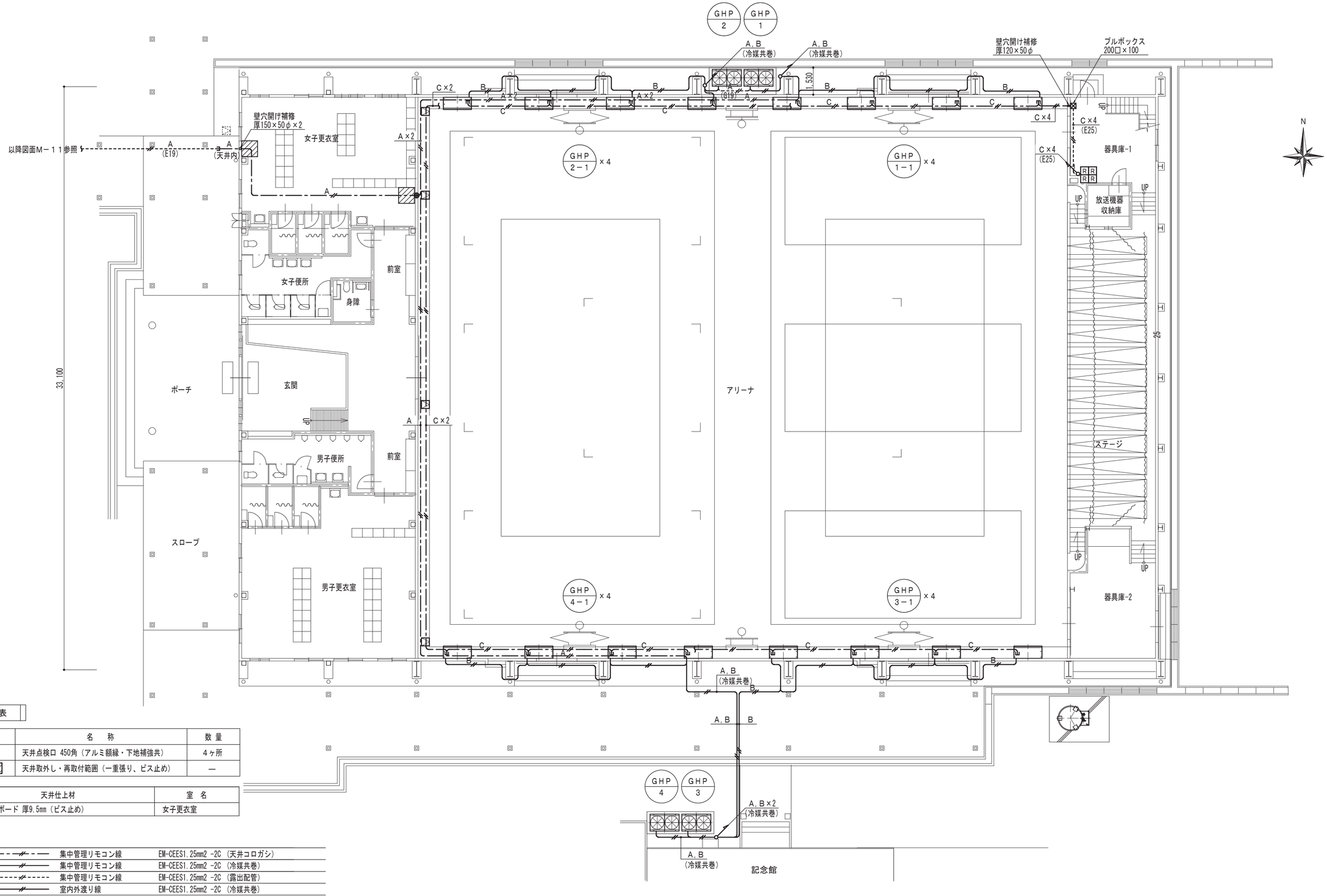
工事名	図名	縮尺	管理建築士	査図	担当	作図	作図
県立倉吉東高等学校第一体育館改修工事（空調設備）	冷暖房設備　断面詳細図、参考詳細図	1／50　1／15	赤井	神原	細木	細木	

TBM TECHNICAL BUILDING MANAGEMENT
株式会社 ティビィエム （ティビィエム環境設備設計事務所）
鳥取県米子市目久美町３４番地２
鳥取県知事登録　第０８－８８８号　一級建築士事務所
管理建築士　一級建築士　第344020号（設備設計一級建築士　第4169号）　赤井　優

年月　２０２６．０９

図番　M ―― ０９

頁 09／20 全



凡例表

記号	名　称	数 量
	天井点検口 450角（アルミ額縁・下地補強共）	4ヶ所
	天井取外し・再取付範囲（一重張り、ビス止め）	—

天井仕上材	室 名
化粧石膏ボード 厚9.5㎜（ビス止め）	女子更衣室

配線凡例

－A－	集中管理リモコン線	EM-CEES1.25mm2 -2C （天井コロガシ）
－A－	集中管理リモコン線	EM-CEES1.25mm2 -2C （冷媒共巻）
－A－	集中管理リモコン線	EM-CEES1.25mm2 -2C （露出配管）
－B－	室内外渡り線	EM-CEES1.25mm2 -2C （冷媒共巻）
－C－	エアコン用リモコン線	EM-MEES0.75mm2 -2C （天井コロガシ）
－C－	エアコン用リモコン線	EM-MEES0.75mm2 -2C （露出配管）
R	エアコン用リモコン	露出２個用スイッチボックス、室内機４台１系統
	防火区画貫通処理	建築基準法令に適合する工法

冷暖房設備　計装配線平面図　S＝１／150

鳥取県
令和８年度
J 2502167
総務部営繕課

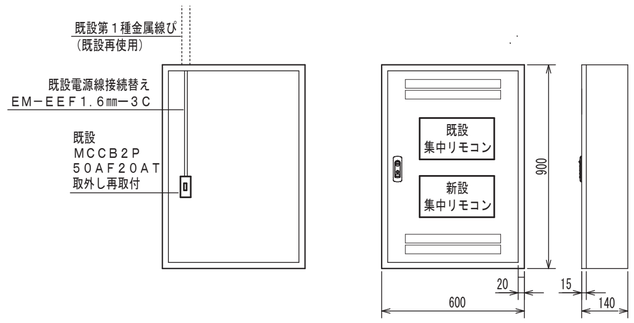
工事名	図名	縮尺	管理建築士	査図	担当	作図	作図
県立倉吉東高等学校第一体育館改修工事（空調設備）	冷暖房設備　計装配線平面図（第一体育館）	1／150	赤井	神原	細木	細木	

TBM TECHNICAL BUILDING MANAGEMENT
株式会社 ティビィエム （ティビィエム環境設備設計事務所）
鳥取県米子市目久美町３４番地２
鳥取県知事登録　第０８－８８８号　一級建築士事務所
管理建築士　一級建築士　第344020号（設備設計一級建築士　第4169号）　赤井　優

年月　２０２６．０９

図番　M ―― １０

頁 10／20 全



※既設盤キャビネット(500×500)撤去

盤キャビネット　参考図

凡例表

記号	名　称	数 量
	天井点検口 450角（アルミ額縁・下地補強共）	２ヶ所
	天井取外し・再取付範囲（一重張り、ビス止め）	—

天井仕上材	室　名
化粧石こうボード 厚9.5㎜（ビス止め）	便所、事務室
化粧石こうボード 厚9.5㎜、ＥＰ塗装	廊下

※化粧石こうボード、外壁吹付タイルは撤去前にアスベスト含有の検査分析を行う。（２検体）
アスベストが含まれていた場合は、関係法令に基づき適切に撤去・処分を行う。（天井材・外壁吹付：レベル３）
・公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）　９章 環境配慮改修工事　１節 石綿含有建材の除去工事による。
・「大気汚染防止法」のほか、「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、
鳥取県石綿健康被害防止条例」等の関係法令に基づいて行う。

配線凡例

－Ａ－	集中管理リモコン	EM-CEES1.25mm2 -2C （天井コロガシ）
－Ａ－	集中管理リモコン	EM-CEES1.25mm2 -2C （露出配管）
CR	集中管理リモコン	第一体育館系統　新設
CR	既設集中管理リモコン	教室棟空調系統　取外し・再取付
	B-L盤キャビネット	新設・既設集中管理リモコン取付用
		放熱用換気口付（600W×900H）
	防火区画貫通処理	建築基準法令に適合する工法

冷暖房設備　計装配線平面図（校舎棟）　Ｓ＝１／２００

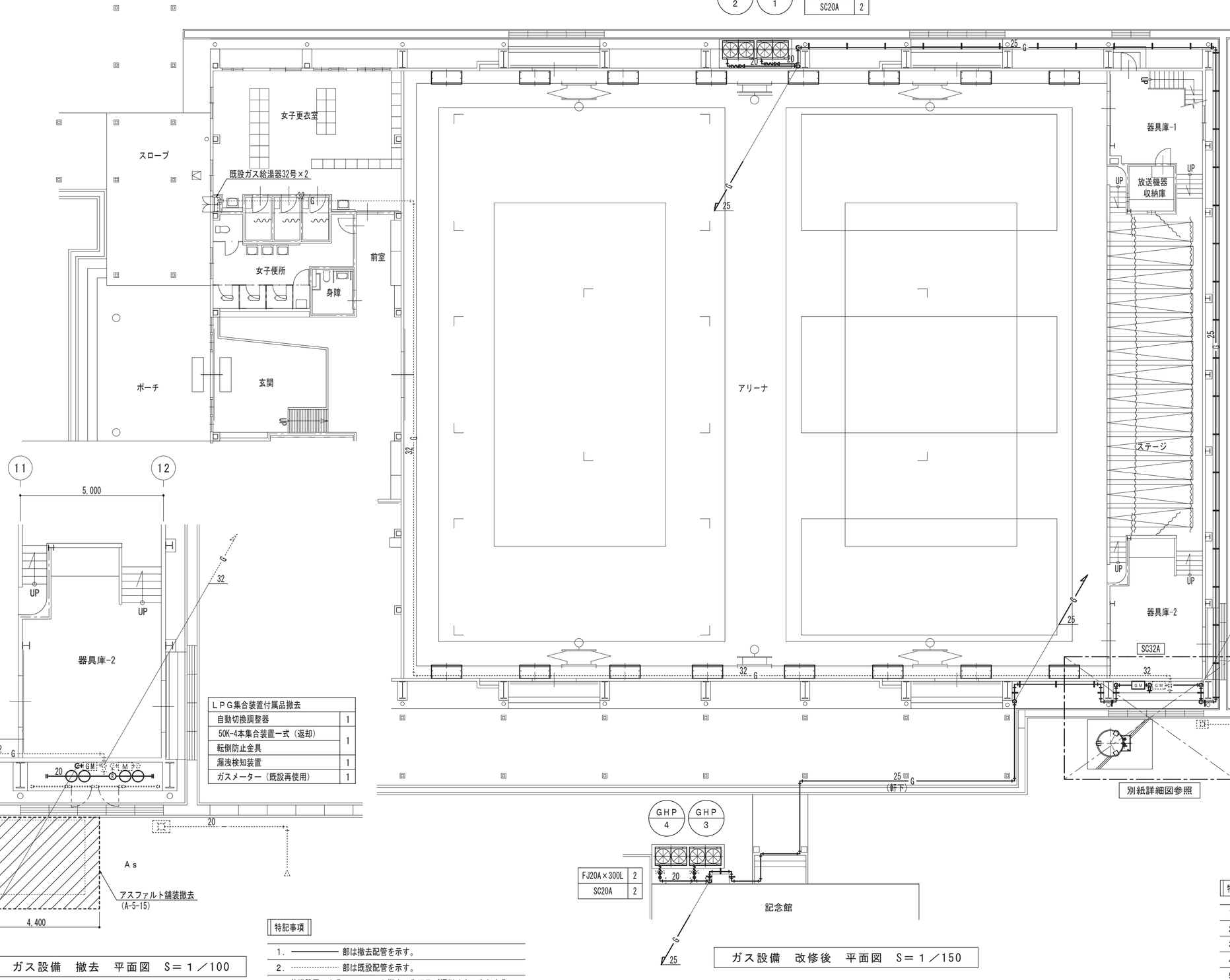
鳥取県
令和８年度
Ｊ 2502167
総務部営繕課

工事名	図名	縮尺	管理建築士	査図	担当	作図	作図
県立倉吉東高等学校第一体育館改修工事（空調設備）	冷暖房設備　計装配線平面図（校舎棟）	1／200	赤井	神原	細木	細木	

TBM TECHNICAL BUILDING MANAGEMENT
株式会社 ティビィエム （ティビィエム環境設備設計事務所）
鳥取県米子市目久美町３４番地２
鳥取県知事登録　第０８－８８８号　一級建築士事務所
管理建築士　一級建築士　第344020号（設備設計一級建築士　第4169号）　赤井　優

年月　２０２６．０９
図番　Ｍ－１１
頁 11／20 全

GHP 2	GHP 1	FJ20A×300L	2
		SC20A	2



ガス設備　撤去　平面図　S＝１／100

ガス設備　改修後　平面図　S＝１／150

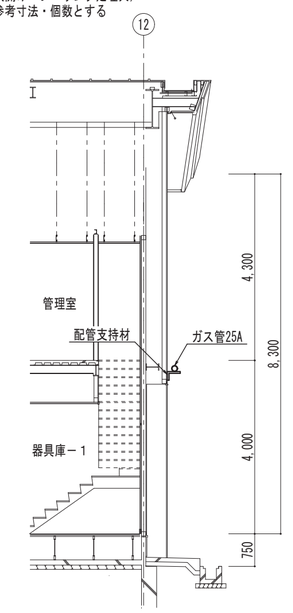
特記事項

1．――― 部は撤去配管を示す。
2．･･･････ 部は既設配管を示す。
3．基礎設置によるアスファルト撤去・復旧及び掘削は本工事とする。

配管支持材

L型ブラケット	
300×210	42

※溶融亜鉛メッキ仕上げ
※外壁と鋼材の間にゴムシート(3t)取付
※鋼製下地に鉄板ビスにて取付
（外壁下穴開け・シーリング処理共）
※支持材は参考寸法・個数とする



ガス設備　断面図　S＝１／100

特記事項

1．――― 部は新設機器・配管を示す。
2．･･･････ 部は既設配管を示す。
3．屋外ガス配管の施工は高所作業車を使用する。
4．渡り廊下の配管支持は型鋼用吊り金具で施工する。
5．バルク貯蔵のあと施エアンカーは引張強度試験を行うこと。
6．基礎工事で発生した残土は処分場へ運搬・処分を行うこと。

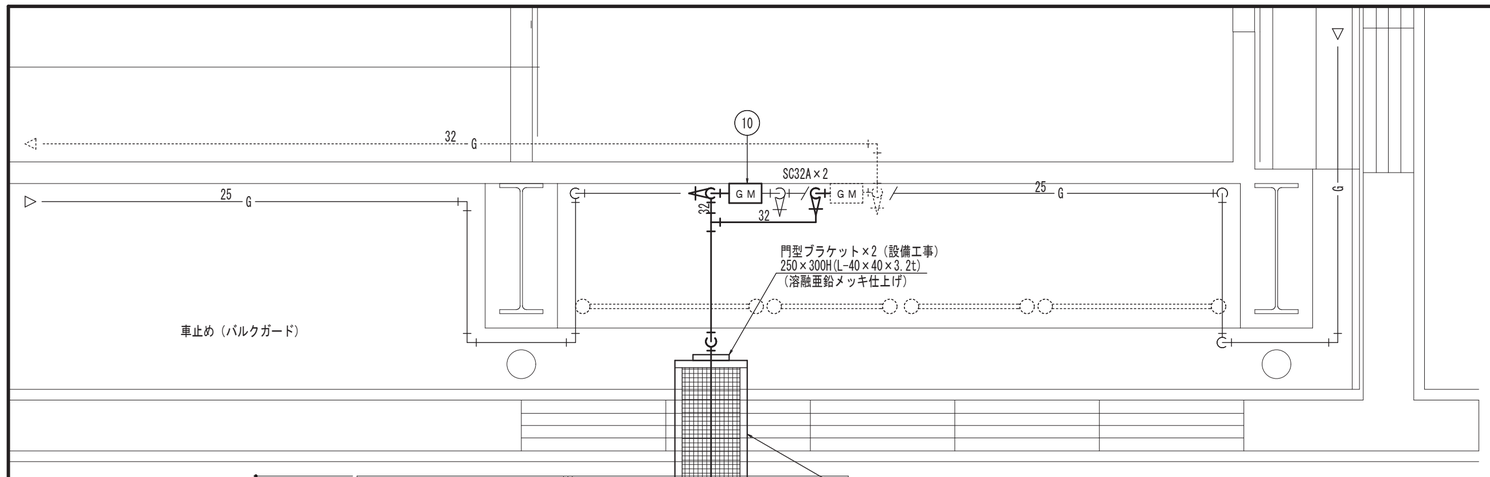
鳥取県
令和８年度
J 2502167
総務部営繕課

工事名	図名	縮尺	管理建築士	査図	担当	作図	作図
県立倉吉東高等学校第一体育館改修工事（空調設備）	ガス設備　改修後・撤去　平面図、断面図	1／150　1／100	赤井	神原	細木	細木	

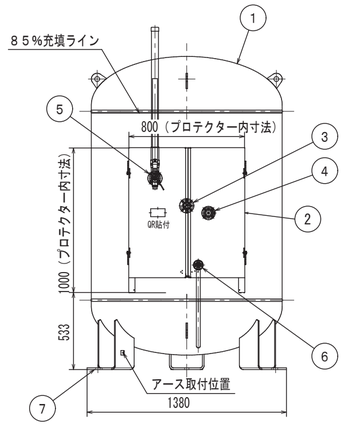
TBM TECHNICAL BUILDING MANAGEMENT
株式会社 ティビィエム（ティビィエム環境設備設計事務所）
鳥取県米子市目久美町３４番地２
鳥取県知事登録　第０８－８８８号　一級建築士事務所
管理建築士　一級建築士　第344020号（設備設計一級建築士　第4169号）　赤井　優

年月　２０２６．０９

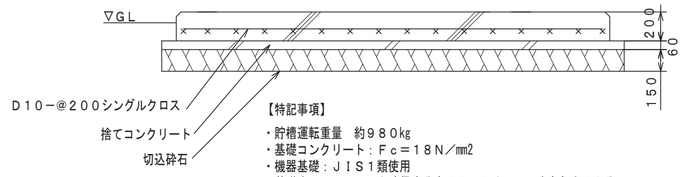
図番　M ―― １２



バルクタンク設置工事　平面詳細図　S＝１／30



バルクタンク　断面詳細図　S＝１／30



【特記事項】
- 貯槽運転重量　約９８０kg
- 基礎コンクリート：Ｆｃ＝１８Ｎ／mm2
- 機器基礎：ＪＩＳ１類使用
- 基礎をＧＬ＋５０以上確保する事については以下、法令条文による
  適用法規：液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律施行規則
  第１９条3号ニ
  (1) 基礎は、平坦なコンクリート盤等による水平、かつ、地盤面から５ｃｍ以上高いものとし、かつ、不同沈下等によりバルク貯槽に有害なひずみが生じないようなものであること

コンクリート基礎　断面詳細図　S＝１／30

機器一覧表（参考）

番号	品名	数量	単位	規格（参考）
1	ＬＰガスバルク貯槽	1	基	地上　９８０ｋｇ　竪型
2	プロテクター	1	式	ＳＳ４００、めっき鋼板
3	液面計	1	個	２点式
4	液取入弁	1	個	過充てん防止装置
5	マルチバルブ	1	個	均圧弁、ガス取出弁、安全弁
6	液取出弁	1	個	プラグ付
7	アンカーボルト	3	本	３－φ３０
8	ボールバルブ	1	個	ガス用ボールバルブ　ねじ込み３２Ａ
9	フレキシブルホース	1	本	３２Ａ－５００mm　フランジ型
10	ガスメーター（貸与品）	(1)	台	超音波型
11	バルク貯槽用フェンス	1	組	フェンス平面・断面図参照
12	車止め（バルクガード）	6	組	

※上記一覧表中の機器は参考とする。

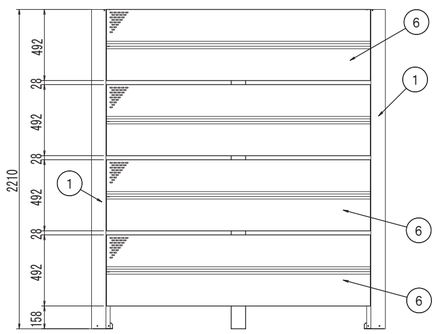
工事区分

ガス供給業者	ＬＰＧ貯蔵設備、基礎、フェンス設置
	上記機器一覧表の機器類、設置、メータまでの配管工事
	貯蔵設備出口以降の消費設備配管工事
ガス供給業者（貸与品）	ガスメーター、バルク用ガス漏れ警報器、集中監視機器
	及び通信工事法に定める官庁届出

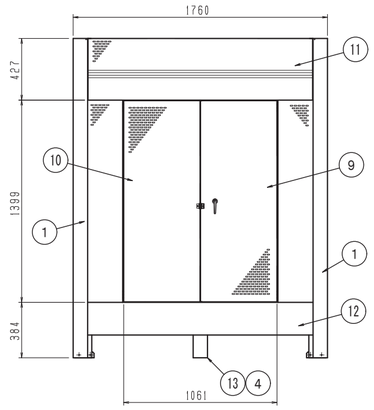
配管仕様		
ガス管	配管用炭素鋼鋼管（ＳＧＰ） 継手は上記仕様に準ずる	フランジ、ネジ接合

バルク貯蔵用フェンス仕様

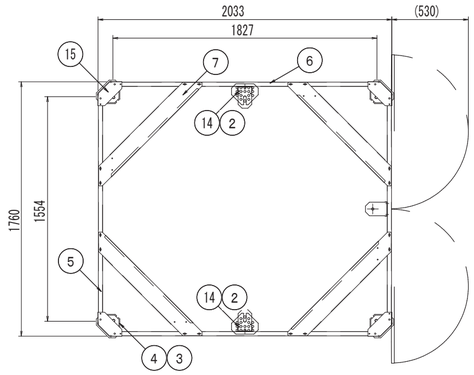
番号	品名	材質	個数	記事
1	コーナー柱	SGMCC	4	t1.0溶融メッキ鋼板
2	中柱	SGMCC	2	t1.0溶融メッキ鋼板
3	アンカーベース（角）	SGMHC	4	t2.3溶融メッキ鋼板
4	ライナープレート	PE	7	t6.0発泡ポリエチレン
5	パネル（1554）	SGMCC	4	t1.0溶融メッキ鋼板
6	パネル（1827）	SGMCC	8	t1.0溶融メッキ鋼板
7	コーナー補強	SGMHC	4	t1.6溶融メッキ鋼板
9	右扉	SGMCC	1	t1.0溶融メッキ鋼板
10	左扉	SGMCC	1	t1.0溶融メッキ鋼板
11	前上パネル	SGMCC	1	t1.0溶融メッキ鋼板
12	下枠	SGMHC	1	t1.6溶融メッキ鋼板
13	アンカーベース（中）	SGMHC	1	t2.3溶融メッキ鋼板
14	アンカーベース（前）	SGMHC	2	t2.3溶融メッキ鋼板
15	コーナー柱キャップ	SGMCC	4	t1.0溶融メッキ鋼板



フェンス側面断面詳細図　S＝１／30



フェンス正面断面詳細図　S＝１／30



フェンス平面詳細図　S＝１／30

鳥取県
令和８年度
J 2502167
総務部営繕課

工事名	図名	縮尺	管理建築士	査図	担当	作図	作図
県立倉吉東高等学校第一体育館改修工事（空調設備）	ガス設備　バルクタンク平面・断面詳細図	1／30	赤井	神原	細木	細木	

TBM TECHNICAL BUILDING MANAGEMENT
株式会社 ティビィエム（ティビィエム環境設備設計事務所）
鳥取県米子市目久美町３４番地２
鳥取県知事登録　第０８－８８８号　一級建築士事務所
管理建築士　一級建築士　第344020号（設備設計一級建築士　第4169号）　赤井　優

年月　２０２６．０９

図番　M ―― １３

頁　13／20　全

電気設備工事特記仕様書

Ⅰ．工事概要

1　工事場所　倉吉市下田中町

2　建物概要

番号	建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積（㎡）	消防法施行令別表第一の区分	備考
1	第一体育館	S	2	1943.23	（　　）項	
2					（　　）項	
3					（　　）項	
4					（　　）項	
5					（　　）項	

3　工事種目　（◉ 印の付いたものが対象工事種目）

工事種目 ＼ 番号		1	2	3	4	5	屋外	備考
◉電灯設備		○						
● 動力設備								
● 電熱設備								
● 雷保護設備								
● 受変電設備								
● 電力貯蔵設備								
● 発電設備								
● 構内情報通信網設備	通信情報設備							
● 構内交換設備	通信情報設備							
● 情報表示設備	通信情報設備							
● 映像・音響設備	通信情報設備							
● 拡声設備	通信情報設備							
● 誘導支援設備	通信情報設備							
● テレビ共同受信設備	通信情報設備							
● 監視カメラ設備	通信情報設備							
● 駐車場管制設備	通信情報設備							
● 防犯・入退室管理設備	通信情報設備							
● 火災報知設備	通信情報設備							
● 中央監視制御設備								
● 医療関係設備								
● 構内配電線路								
● 構内通信線路								
● テレビ電波障害防除設備								
● 機械設備工事								
● 建築工事								

4　設備概要　（本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。）

◉ の付いたものを適用する。

	項目	特記事項
電灯設備	◉電気方式	幹線　● 単相３線式１００／２００Ｖ　● 直流２線式１００Ｖ 分岐　◉ 単相２線式（◉ １００Ｖ　◉ ２００Ｖ）　● 直流２線式１００Ｖ
	● 非常用照明器具	光源　● ＬＥＤ　● 蛍光灯　● 白熱灯　　電源　● 電池内蔵形　● 電源別置形
	● 誘導灯	● 避難口　● 階段通路　● 廊下通路　● 室内通路
動力設備	● 電気方式	幹線　● 三相３線式２００Ｖ　● 単相２線式２００Ｖ　● 単相３線式１００／２００Ｖ 分岐　● 三相３線式２００Ｖ　● 単相２線式（● １００Ｖ　● ２００Ｖ）
雷保護設備	● 受雷部	● 突針　● 棟上げ導体　● その他金属体（　　）
	● 避雷導線	● 建築構造体利用　● 引下げ導線
	● 接地極	● 建築構造体利用　● 接地極埋設
受変電設備	● 電気方式	高圧　三相３線式　６．６ｋＶ 低圧　● 三相３線式２００Ｖ　● 単相３線式１００／２００Ｖ　● 単相２線式（● １００Ｖ　● ２００Ｖ）
	● 契約電力	改修工事　既存設備　●　　ｋＷ 新営工事　● １００ｋＷ未満　● １００ｋＷ以上５００ｋＷ未満　● ５００ｋＷ以上
	● 設備方式	● 屋内形　● 屋外形
	● 機器類	● キュービクル式配電盤（● ＰＦ形　● ＣＢ－１形　● ＣＢ－２形） ● 高圧スイッチギア、変圧器盤（ＣＢ－３形） 変圧器　三相　　ｋＶＡ、単相　　ｋＶＡ　● 油入　● モールド 主遮断器　● 限流ヒューズ　● ＶＣＢ

	項目	特記事項
電力貯蔵設備	● 直流電源装置	用途　● 非常用照明器具電源および受変電設備制御電源共用 ● 受変電設備制御電源専用　● 非常用照明器具電源専用 蓄電池　● ＨＳ形鉛蓄電池　● ＭＳＥ形鉛蓄電池　●　　（　　Ａｈ）
	● 交流無停電電源装置（ＵＰＳ）	形式　● 標仕によるＵＰＳ　● 簡易形ＵＰＳ 用途　● 電算機用　●
発電設備	● 自家発電装置	電気方式　三相３線式　● ６．６ｋＶ　● ２１０Ｖ 機器類　形　式　● キュービクル形　● 簡易形　● オープン形 発電機（　　ｋＶＡ以上）　原動機　● ディーゼル　● ガスタービン 防油堤　● コンクリート製　● 鉄板製（● 本工事　● 別途工事）
	● 太陽光発電装置	モジュール　● 結晶シリコン　● 薄膜　●
	● 風力発電装置	風車　● プロペラ形　●
通信情報設備	● 構内情報通信網設備	● 機器　● 配管のみ　● 配管及び配線
	● 構内交換設備	● 交換機　● 局線中継台　● 電話機　● ボタン電話装置　● 配管のみ　● 配管及び配線
	● 情報表示設備	● マルチサイン装置　● 出退表示装置　● 時刻表示装置
	● 映像・音響設備	● 増幅器　● スピーカー　● プロジェクタ　● スクリーン　● その他（　　）
	● 拡声設備	用　途　● 一般放送　● 非常放送　● 個別放送
	● 誘導支援設備	● 音声誘導装置　● 身体障害者用インターホン装置　● トイレ等呼出し装置 ● インターホン　● テレビインターホン　● ナースコール
	● テレビ共同受信設備	● アンテナ（● ＵＨＦ　● ＢＳ　● ＣＳ）　● ＣＡＴＶ
	● 監視カメラ設備	● カメラ　● ビデオモニタ　● 配管のみ　● 配管及び配線
	● 駐車場管制設備	車両検知方式　● 光線式　● ループコイル式
	● 防犯・入退室管理設備	機器（● 本工事　※ 別途工事）　配管（※ 本工事　● 別途工事）　配線（● 本工事　※ 別途工事）
火災報知設備	● 自動火災報知設備	● 受信機（● Ｐ型　● Ｒ型）　● 副受信機　● 中継器　● 感知器　●
	● 自動閉鎖設備	連動制御器（　　回線　● 単独　● 火報受信機と一体）　感知器（● 共用　● 専用）
	● 非常警報設備	複合装置　● 一体形（※ 一般型　● 防雨型）　● 単独
	● ガス漏れ火災警報設備	受信機（　　回線　● 単独　● 火報受信機と一体　● ＬＰガス用　● 都市ガス用）
制御設備中央監視	● 形式	● 警報盤　● 表示操作盤　● 監視制御装置
	● 監視制御対象設備	● 動力設備　● 受変電設備　● 自家発電設備　● 防災設備　● 照明制御　● 給排水設備　● 空調設備
	● 伝送方式	● アナログ方式　● デジタル方式
構内配電線路	● 電気方式	三相３線式（● ６．６ｋＶ　● ２００Ｖ） ● 単相３線式１００／２００Ｖ　● 単相２線式（● １００Ｖ　● ２００Ｖ）
	● 施工方法	● 地中埋設式　● 架空線式
	● 外灯点滅方式	● 手動　● 自動（● タイマー　● 自動点滅器　● 中央監視）
構内通信線路	● 用途	● 電話用　● 時計拡声用　● 火災報知用　● インターホン用　● 情報通信網用　● ＣＡＴＶ
	● 施工方法	● 地中埋設式　● 架空線式
テレビ電波障害防除設備	● 対策方策	● 都市形ＣＡＴＶへの加入　● 共同受信方式（● 共同アンテナ　● 館内用アンテナ用）
	● 責任分界点	● 各戸の保安器一次側　●

Ⅱ．特記仕様

1　一般事項

（１）現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の標準仕様等のうち、◉ 印の付いたものによる。

◉ 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和７年版）（以下、「標準仕様書」という。）

◉ 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和７年版）（以下、「改修標準仕様書」という。）

◉ 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（令和７年版）（以下、「標準図」という。）

（２）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「電気設備工事監理指針（令和７年版）」（以下「監理指針」という。）を適用する。

（３）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。

2　特記事項

（１）項目は番号に ○ 印の付いたものを適用する。

（２）特記事項のうち選択する事項は ◉ の付いたものを適用する。

◉ の付かない場合は、※ 印の付いたものを適用する。◉ と ※ の付いた場合は共に適用する。

（３）一般共通事項のうち （ 1.5.6.7.8.9.10.11.12.13.15.30.35 ） 項は、● 建築 ◉ 機械設備 工事特記仕様書による。

	項目	特記事項
一般共通事項	1 官公署その他への手続	工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続き、検査に必要な資機材、労務等を提供する。
	② 電気保安技術者	事業用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、電気主任技術者の業務を補佐する監督職員の指示に従い、当該現場における電気工作物の保安業務を行うものとする。 なお、電気保安技術者の資格は標準仕様書第１編第１章第３節１．３．２によるものとし、一般用電気工作物に係る工事についても、事業用電気工作物の場合と同様の業務を行うものとする。
	3 電気工事士	契約電力５００ｋＷ以上の場合においても、第１種電気工事士により施工を行う。
	4 工事安全計画書等	建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。
	5 発生材の分析及び処理	引渡しを要するもの　※ 無し　● 有り（　　） 引渡しを要するもの以外は、構外搬出適切処理とする。 特別管理産業廃棄物　※ 無し　● 有り　●本工事において調査を行う （● ＰＣＢ使用機器　● アスベスト含有設備資機材（● 　　● 　　）） ＰＣＢ使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。 撤去予定機器の微量ＰＣＢ分析　※ 無し　● 有り

6 機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上の品質及び性能を有するものとする。 また、製造者等が定められている機材については、Ⅲ．機材によるほかこれらと同等以上のものとする。ただし、これらと同等以上のものとする場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料をあらかじめ監督職員に提出して承諾を受ける。 なお、（一社）公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業　設備機材等評価名簿」による場合は評価書の写しを監督職員に提出するものとする。
7 機材の品質・性能証明	使用する機材がⅢ．機材による場合は、標準仕様書第１編第１章第４節１．４．２（２）の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。ただし、標準仕様書に規定される製作図、試験成績書等は除く。
8 施工図等	提出した施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。
9 完成写真等	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「工事写真撮影ガイドブック電気設備工事編　令和５年版」によるほか、監督職員の指示による。下記のものを提出する。

区分	分類・規格	撮影箇所	部数	電子データの提出
工事写真	カラー	各工種工程毎	※ １部　● 部	※ 要　● 不要
完成写真	カラー	監督職員の指示による	※ ２部　● 部	※ 要　● 不要

10 完成図等	次の図書を工事の完成引渡し時に監督職員に提出する。

区分	名称	部数
※ 完成図原図	完成図　● 原紙　※ ＣＡＤデータ　※ ＰＤＦデータ 施工図　● 原紙　※ ＣＡＤデータ　※ ＰＤＦデータ	※ ２部 ● 部
※ 完成図　２つ折製本	※ 完成図　※ 完成図（縮小版） ● 施工図　● 施工図（縮小版）	※ ２部 ● 部
※ 完成図書 ※ Ａ４版市販ファイル ● Ａ４版黒表紙製本	※ 完成図（縮小版）　※保証書（写し） ※ 主要機器図　※官公署届出書類（写し） ※ 試験成績書	※ ２部 ● 部
※ 保守用説明書 Ａ４版ファイル	※ 保守に関する指導案内書 ※ 機器取扱説明書 ※ 主要機器一覧表	※ ２部 ● 部
※ 保証書		１部
※ 官公署届出書類		１部

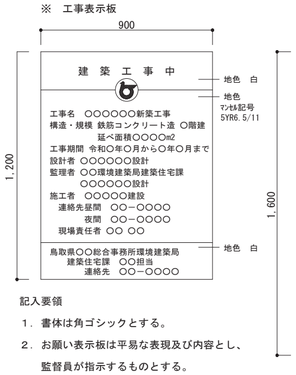
※ 原図ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼り付ける。

11 他工事との取合い	

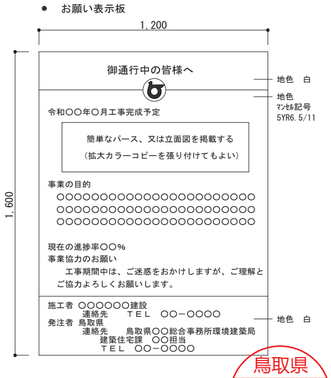
他工事との取合い		電気設備	機械設備	建築
● コンクリート壁、床、梁貫通部	補強	●	●	※
	スリーブ・箱入	※	●	●
● 鉄骨造の開口及び補強		●	●	※
● 照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート（くぎ処理共）		※	●	●
● 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地		※	●	●
● 埋込分電盤・端子盤・プルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮枠	※	●	●
	補強	●	●	※
● ＯＡフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強		●	●	※
● 埋込形機器取付用の天井、壁の下地材・仕上げ材	切り込み	※	●	●
	補強	●	●	※
● 自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ		●	●	※
● 電気室、自家発電機室などの基礎及びピット（蓋を含む）		●	●	※
● 機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線		●	※	●
● 機器用コントロールスイッチ（空調機、給湯器等）の取付及び配線		●	※	●
● テレビアンテナ	基礎	●	●	※
	アンカーボルト	※	●	●
● 天井点検口		●	●	※
● 自立型制御盤の基礎		※	●	●
● 機器類のコンクリート基礎	屋内・屋外設置	※	●	●
	屋上設置	●	●	※

12 工事用電力・水・その他	本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。
13 表示板	設ける。（寸法等は下図による。建築工事、機械設備工事等と一括して表示する）

※　工事表示板



●　お願い表示板



記入要領

１．書体は角ゴシックとする。

２．お願い表示板は平易な表現及び内容とし、監督員が指示するものとする。

14 足場	「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における２の（２）手すり据え置き方式又は（３）手すり先行専用足場方式により行う。

鳥取県　令和８年度　総務部営繕課

工事名	図名	縮尺	管理建築士	査図	担当	作図	作図
県立倉吉東高等学校第一体育館改修工事（空調設備）	電気設備工事特記仕様書（１）	／　／　／	赤井	神原	内藤	内藤	

TBM TECHNICAL BUILDING MANAGEMENT
株式会社 ティビイエム（ティビイエム環境設備設計事務所）
鳥取県米子市目久美町３４番地２
鳥取県知事登録　第０８－８８８号　一級建築士事務所
管理建築士　一級建築士　第344020号（設備設計一級建築士　第4169号）　赤井　優

年月　２０２６．０９

図番　Ｅ－０１

頁 14 / 20 全

一般共通事項

15 工事用仮設物　構内につくることが　※ できる　● できない

16 土工事　埋め戻し土　※ 根切土の中の良質土　● 山砂の類（　　）　● 真砂土（　　）

建設発生土の処理　● 構外に搬出し適切に処理　※ 構内敷きならし　● 構内の指示する場所に堆積

⑰電線類　本工事では環境配慮の観点から、原則としてＥＭケーブルを使用するものとする。

ＥＭ電線類で規格等の定めのないものはハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。

通信ケーブルでＪＣＳ規格にない対数のケーブルはＪＣＳ規格に準じたものとする。

盤内配線はＥＭ電線を使用する。ただし、製造者標準品と特記したものは除く。

ハーネスジョイントボックス用ＯＡタップのケーブルはハロゲン及び鉛を含まない材料とする。

⑱電線本数・管路等　分電盤、制御盤、端子盤などの２次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。

19 屋外露出配管の仕上げ　屋外露出配管（厚鋼電線管）で塗装を行わない場合は、溶融亜鉛めっき仕上げ［めっき付着量　３００g/㎡以上］とする。

20 露出配管の塗装（付属品含む）　塗装する部分　●屋上　●屋側　●屋外　●廊下　● 機械室　● 居室（　　）　●

21 波付硬質合成樹脂管（ＦＥＰ）　波付硬質合成樹脂管（ＦＥＰ）を使用する場合は不燃又は難燃性とする。

22 フラッシュプレートの材質　● 金属製（ステンレス、新金属も含む）　● 樹脂製

23 カバープレートの表示　シール等を貼付し、用途を表示する。

24 プルボックスの塗装　ステンレス製プルボックスの塗装　※ 無（素地仕上）　●有（指定色仕上）

25 耐震施工　設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量１ｋＮ以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。

１）機器の据付け及び取付け

設計用水平地震力は、機器重量［ｋＮ］に、地域係数と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。

設計用標準水平震度		● 特定の施設		● 一般の施設	
設置場所	機器種別	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上及び塔屋	機　　器	2.0	2.0	1.5	1.0
	防振支持の機器				
	水　槽　類				
中間階	機　　器	1.5	1.0	0.6	
	防振支持の機器		1.5	1.0	
	水　槽　類		1.0	0.6	
地下及び１階	機　　器	1.0	0.6	0.4	
	防振支持の機器		1.0	0.6	
	水　槽　類	1.5			

上層階の定義　２～６階建：最上階、７～９階建：上層２階、10～12階建：上層３階、13階以上：上層４階

中間階の定義　地階、１階を除く各階で上層階に該当しないもの

水槽類には燃料小出槽を含む

重要機器　（ ● 配電盤　● 非常用発電装置　● 交換装置　● 直流電源装置　● ＵＰＳ装置　● 火災報知受信機　● 中央監視制御装置　●通信総合盤　●　　）

２）設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の１／２とし、水平地震力と同時に働くものとする。

３）設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」（（一財）日本建築センター）を参考にする。

26 接地極　接地極の材料は次による。

接地の種類	記　号	接地抵抗値	接　地　極
● 共同接地	ＥＡＥＤ	１０Ω以下	ＥＢ×３連－２組
● 共同接地	ＥＡＥＣＥＤ	１０Ω以下	ＥＢ×３連－２組
● Ａ種	ＥＡ	１０Ω以下	ＥＢ×３連－２組
● Ｂ種	ＥＢ	Ω以下	ＥＢ×２連－２組
● Ｃ種	ＥＣ	１０Ω以下	ＥＢ×３連－２組
● Ｄ種	ＥＤ	１００Ω以下	ＥＢ×１
● 高圧避雷器	ＥＬＨ	１０Ω以下	ＥＢ×３連－２組
● 交換機用	Ｅｔ	Ω以下	ＥＢ×３連－１組
● 通信用	ＥＡｔ	１０Ω以下	ＥＢ×３連－２組
● 通信用	ＥＤｔ及びＥＤａ	１００Ω以下	ＥＢ×１
● 電話引込口の保安器用	ＥＬｔ	１００Ω以下	ＥＢ×１
● 測定用	Ｅｏ	－	ＥＢ×１

（連結の場合、ＥＢはＤ＝１４　Ｌ＝１５００　または　Ｗ＝４０　Ｌ＝１２００とする）

（ＥＤ、ＥＤｔ、ＥＤａ、ＥＬｔ、Ｅｏの場合、ＥＢはＤ＝１０　Ｌ＝１０００　または　Ｗ＝３０　Ｌ＝９００ 以上とする）

（その他単独の場合、ＥＢはＤ＝１４　Ｌ＝１５００　または　Ｗ＝４０　Ｌ＝１２００とする）

27 屋上、屋側の支持金物等　ステンレス製または鋼材に溶融亜鉛メッキを施したものとする。

28 結露防止　外気に面する壁、スラブ等で打ちこみとなる位置ボックスは保温、結露防止処理を行う。

29 アスベスト含有建材の処理　公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）　９章 環境配慮改修工事 １節 石綿含有建材の除去工事による。

処理を行うアスベスト含有建材の仕様等

建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲

※ 県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録業者を活用するものとする。

※ 官公署その他への手続きは、同仕様書によるほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。

● 施工調査（分析によるアスベスト含有建材の調査）を行う。
分析方法はＪＩＳ Ａ １４８１「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。

● アスベスト粉じん濃度測定を行う。
（測定時期：　　測定場所：　　測定点：　　）

● 洗浄設備（洗眼、うがいの設備）及び更衣設備等を設ける。

● 作業場の養生として、処理場所をプラスティックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。
対象箇所（　　）

一般共通事項

30 補修など　工事の施工に伴い既存部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならい補修する。

31 はつり　既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターによる。

32 はつり工事における非破壊検査　探査方法　※電磁誘導式　● 放射線透過検査　●

33 あと施工アンカー　１）施工後確認試験　※ 行わない　● 行う

試験方法　引張試験機による引張試験

確認強度　対象機器ごとのアンカーボルト１本に作用する短期の引抜き力以上

試験箇所数　１施工単位に対し１本以上

対象機器　● 配電盤　● 発電装置　● 直流電源装置　● 太陽光発電装置

34 室内空気中の化学物質の濃度測定　実施する。

35 火災保険等　工事目的物及び工事材料等工事施工途中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。

（保険の加入期限は、工事完成引渡しまで［概ね工期＋21日］とする。）

36 鳥取県公共事業環境配慮指針　※ 対象工事

37 建築物省エネ法　※ 対象工事

1 電灯設備

1 照明器具　１）ＬＥＤの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。

ＬＥＤの光源色　（ ※ 昼白色　● 温白色　● 電球色 ）

2 一般照明の照度測定　測定結果を監督職員に提出する。（測定箇所等は、監督職員の指示による。）

3 非常用照明の照度測定　※ 設置した各部屋２箇所以上　●

4 照明制御の照度測定等　明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は照度測定を行い測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。

照度測定時期　１００%点灯時（ ※ 夜間　● 昼間 ）

調光制御点灯時（ ※ 夜間　※ 昼間 ）

② 電灯設備

①機器への接続　※ 電動機などへの接続は本工事とする。　● 別途工事

3 雷保護設備

1 大地抵抗率の測定　● 工事着手前に大地抵抗率を測定し、測定表及び接地極省略判定記録書を監督職員に提出する。

2 外部雷保護設備接地システム　● 構造体利用接地極　● Ａ型接地極　● Ｂ型接地極

4 受変電設備

1 変圧器移動車輪　７５ｋＶＡ以上に取付。

2 デマンド監視装置　● 本工事　● 別途工事

3 盤内照明　前・後に設置する。

5 電力貯蔵設備

1 交流無停電電源装置（ＵＰＳ）　停電補償時間（　　分）

方式（ ● 常時インバータ給電方式　● ラインインタラクティブ方式　● 常時商用給電方式 ）

6 発電設備

1 自家発電装置　運転時間（　　ｈ）　系統連系（ ● 高圧連系　● 高圧受電低圧みなし連系　● 低圧連系　● 無 ）

● ディーゼル発電装置　出力（　　ｋＷ）　配電盤外箱（ ● 有　● 無 ）

● ガスエンジン発電装置　保安装置（ 重故障項目特記 ● 有　● 無 ）　外部用端子（ ● 要　● 不要 ）

● ガスタービン発電装置　減圧水槽及び初期注水槽の材質（ ● 鋼板製　● ステンレス鋼板製 ）

● 熱併給発電装置　オイルタンク（ ● 地下　● 屋内 ）

● 燃料電池発電装置　据付：機械設備工事標準図（ ● 施工３０、３２（タンク室無し）　● 施工３１、３３（タンク室有り））

燃料小出槽（　　）：返油ポンプのあるシステムでフロートスイッチの上限フロートは通過形接点とする。

材質（ ● 鋼板製　● ステンレス製 ）

燃料油等（ ● 灯油　● 軽油　● 重油　● 燃料ガス（　　））

排気系統配管断熱材の厚さ（　　mm）　ばい煙測定口（ ● 設ける　● 設けない ）

排気ガスに含まれる窒素酸化物（　　以下）　運転音（　　ｄＢ以下）

2 太陽光発電装置　系統連系（ ● 高圧連系　● 高圧受電低圧みなし連系　● 低圧連系　● 無 ）

公称最大出力（　　ｋＷ）　耐風速（　　ｍ／ｓ）

パワーコンディショナ（　　相　　線式　　Ｖ）　定格容量（　　ｋＷ）

自立運転機能（ ● 有　● 無 ）

表示装置（ ● 有　● 無 ）　方式（ ※ 液晶　●　　）

3 風力発電装置　系統連系（ ● 高圧連系　● 高圧受電低圧みなし連系　● 低圧連系　● 無 ）　定格出力（　　ｋＷ）

7 構内交換設備

1 交換装置　局線応答方式（ ● 局線中継台方式　● 分散中継台方式　● ダイヤルイン方式

● ダイレクトインダイヤル方式　● ダイレクトインライン方式 ）

停電補償時間（　　分）

2 保安器用接地　※ 本工事　● 別途工事

3 壁付電話機との接続　※ モジュラージャック　● 電話用プレート

4 回線数　内線　／　／　回線　局線　／　／　回線（現用／実装／容量）

5 電話機　● 一般電話機　　台　● 多機能電話機　　台　● ファクシミリ　　台

● デジタルコードレス電話機　　台　● ＩＰ電話機　　台

6 電話機への配線　卓上電話機１台につき次のものを見込む。

● ボタン電話機（ ● EM-BTIEE 0.4－2P　●　　）（ ※ １５ｍ　●　　）

● 内線電話機　（ ● EM-TIEF 0.65－2C　● TIVF 0.65－2C ）（ ※ １５ｍ　●　　）

● 多機能電話機（ ● EM-BTIEE 0.4－2P　●　　）（ ※ １５ｍ　●　　）

● ＩＰ電話機　（ ● EM-UTP 0.5－4P　●　　）（ ※ １５ｍ　●　　）

8 情報表示設備

1 マルチサイン装置　イメージスキャナ（ ● 設ける　● 設けない ）

2 出退表示装置　制御装置（ ● 壁掛形　● 埋込形　● 据置形 ）

呼出機能（ ● 有　● 無 ）　方式（ ● 発光ダイオード　● 液晶　●　　）

3 時刻表示装置　親時計（ ● 壁掛形　回線　● ラック形　回線 ）

太陽電池式屋外時計（ 点灯時間　　ｈ　点灯保証日数　　日 ）

9 映像音響設備

1 プロジェクタ　光出力（ ● Ⅰ形　● Ⅱ形　● Ⅲ形 ）　解像度（ ● Ａ形　● Ｂ形　● Ｃ形 ）

コントラスト比（ ● Ｘ形　● Ｙ形 ）

10 拡声設備

1 増幅器　形式（ ● 卓上形　● ラック形 ）　定格出力（　　Ｗ）　性能（ ● Ｈｉ形　● Ｌｏ形 ）

● 増幅器の入出力配線と外部配管（壁ボックス等）の接続はコネクターによる。

11 誘導支援

1 音声誘導装置　検出方式（ ● 磁気方式　● 無線方式　● 画像認識方式 ）

12 火災報知設備

1 自動火災報知設備　受信機（ ●　型　級　回線（蓄積型）　● 複合形　● 単独形 ）

2 自動閉鎖設備　● 防火戸用（ ※ ラッチ式　● 電磁式 ）

● 防煙ダンパー用（ ※ 電動復帰　● 手動復帰 ）

● 防火シャッター用（ ※ 別途工事　● 本工事 ）

3 ガス漏れ火災警報設備　検知器（ ● 天井取付形　● 壁取付形 ）

13 構内配電線路

1 施工方法　埋設深さ　※ ＧＬ－３００以上、舗装のある場合は路盤下－３００以上とする。

● ＧＬ－６００以上（ ● 車路　● 高圧配線　● 幹線　●　　）

2 地中箱　蓋の記号表示は鋳型流込み（鳥取県又は鳥取県章、及び用途を記入）とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋はアスファルト舗装用とする。

3 高圧負荷開閉器　● 閉鎖形（ ● 軽耐塩形　● 重耐塩形 ）　● 地絡継電器付（ ※ 方向性　● 無方向性 ）

● 避雷器内蔵

※ 別置制御装置までの制御ケーブルを付属する。

4 高圧ケーブルの端末部　高圧ケーブルの両端部にシースの縮み対策（熱伸縮テープによるシースずれ止め対策等）を行う。

5 高圧ケーブルの屋外端末処理　● 一般形　● 耐塩形

6 標識シート　※ 高圧　● 低圧

7 照明用ポール　照明用ポールには配線用遮断器（トリップ機能なし）又はカットアウトスイッチ（素通しヒューズ）を内蔵する。ただし、ガーデンライトは除く。

14 構内通信線路

1 施工方法　埋設深さ　※ ＧＬ－３００以上、舗装のある場合は路盤下－３００以上とする。

● ＧＬ－６００以上（ ●　　● 　　）

2 地中箱　蓋の記号表示は鋳型流込み（鳥取県又は鳥取県章、及び用途を記入）とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋はアスファルト舗装用とする。

3 標識シート　● データ回線　● 電話　● ＣＡＴＶ　●

15 テレビ電波受信障害調査

1 調査仕様　図面に記載されていない事項は、すべて（一社）日本ＣＡＴＶ技術協会の「建造物によるテレビ受信障害調査要領」及び「建造物によるテレビ受信障害調査要領（地上デジタル放送）」の最新版により調査を行い、同協会の技術審査を受けるものとする。

2 テレビ電波受信障害調査時期　※ 事前　● 中間　※ 事後

3 受信する受信波及び地点数　中継局　波：　地点

中継局　波：　地点

4 報告書提出部数　※ 事前　３部　● 中間　部　※ 事後　３部

16 その他

1 機器取付高

機器取付高は下記を標準とする。ただし、天井高３ｍ以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督職員と協議する。

名　称		測　点	取付高（mm）
電力共通	取引用計器	地上～窓中心	1,800～2,000
	引込開閉器	地上～中心	1,800～2,200
電灯	分電盤・ＯＡ盤・実験盤	床上～中心	1,500（上端1,900以下）
	スイッチ	〃	1,300
	〃　（多機能トイレ）	〃	1,100
	コンセント（一般）	〃	300
	〃　（和室）	〃	150
	〃　（台上）	台上～中心	150
	〃　（土間）	床上～中心	800～1,300
	〃　（車椅子用）	〃	900
	ブラケット（一般）	〃	2,100～2,300
	〃　（踊場）	〃	2,000～2,500
	〃　（鏡上）	鏡上端～中心	150
動力	壁掛形制御盤	床上～中心	1,500（上端1,900以下）
	手元開閉器	〃	1,500
	操作スイッチ	〃	1,300
構内交換	端子盤	床上～下端	300
	保安器箱	天井下～上端	200
	壁付アウトレット	床上～中心	300
	〃　（和室）	〃	150
電気時計	壁掛形親時計	床上～中心	1,500（上限1,900以下）
	子時計	〃	天井高×0.9
拡声	壁掛形スピーカ	床上～中心	天井高×0.9
	壁付アッテネータ	〃	1,300

名　称		測　点	取付高（mm）
表示	表示盤	床上～中心	天井高×0.9
	壁付発信器	〃	1,300
	ベル、ブザー、チャイム	〃	2,300
	受付押ボタン（一般）	〃	1,300
	電源箱	床上～下端	300
誘導支援	外部受付用インターホン(子機)	標準図による	
	壁付インターホン(上記以外)	床上～中心	1,300
	壁付押ボタン(多機能トイレ)	〃	900
	壁付押ボタン(多機能トイレ) 床転倒時用	〃	300
テレビ共同受信	機器収容箱	天井下～上端	200
	テレビ端子	床上～中心	300
	〃　（和室）	〃	150
			1,500
火災報知	受信機・副受信機	床上～操作部	800～1,500
	機器収容箱	〃	800～1,500
	発信機	床上～中心	800～1,500
	ベル	天井下～上端	200
	表示灯	〃	200
ガス検知	ガス漏れ中継器	天井下～中心	300
	検知器（都市ガス）	天井下～下端	300
	〃　（ＬＰガス）	床上～上端	300

2 工事のため送電線及び配電線の近くで作業するときは、事前に中国電力に連絡し、事故防止に努めるものとする。

Ⅲ．機　材

工事に使用する機器及び材料は、図面に仕様等が明記してあるものを除き、原則として標準仕様書に規定するもの及び（一社）公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業　設備機材等評価名簿」による。

ただし、盤類は上記によるほか以下の製造業者とする。

㈱永井電機工業所　㈲平木電機産業

小林制電㈱　㈱富士オートメーション

勝英産業㈱　㈲増岡電機製作所

鳥取県 令和８年度 J 2502167 総務部営繕課

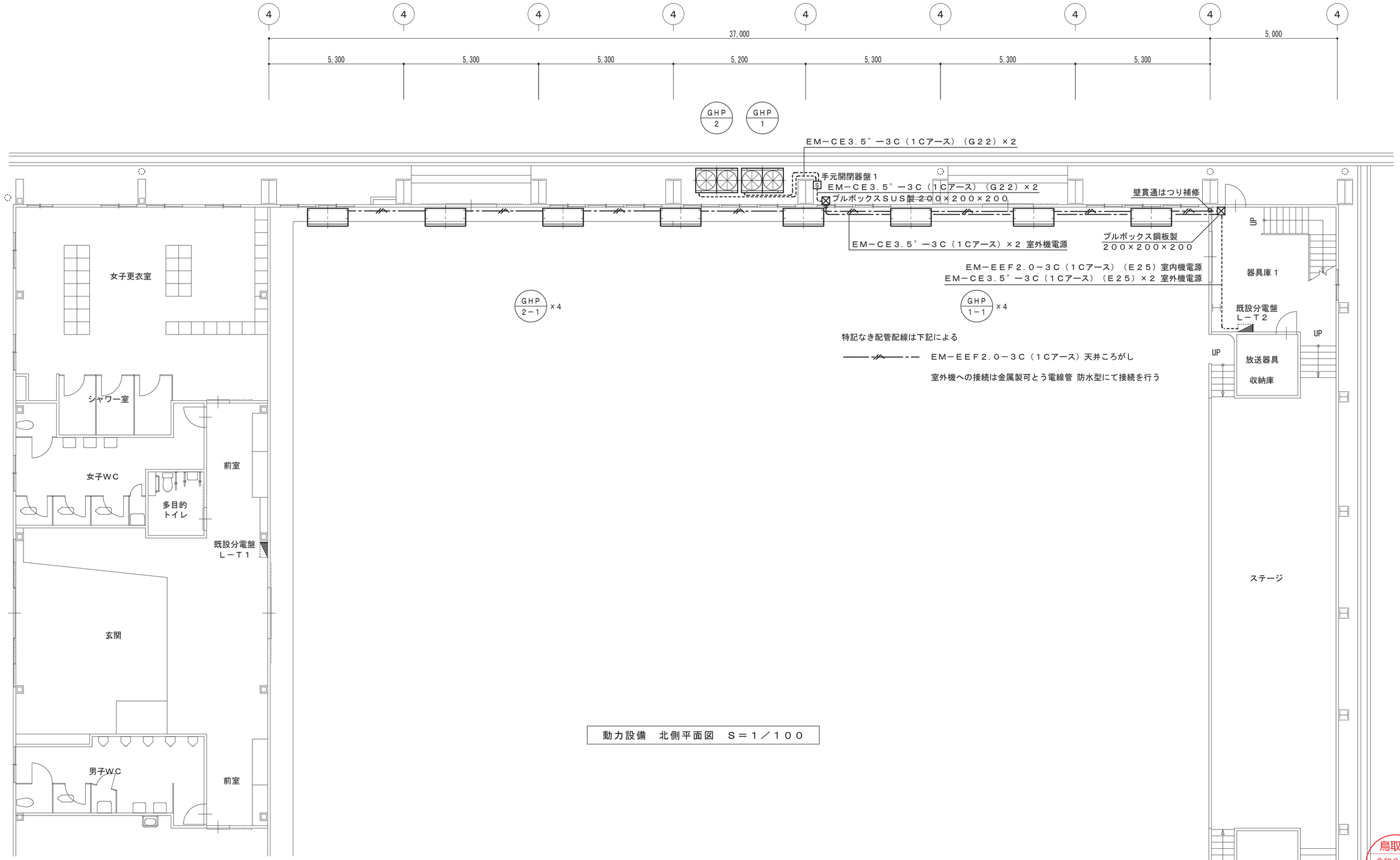
工事名	図名	縮尺	管理建築士	査図	担当	作図	作図
県立倉吉東高等学校第一体育館改修工事（空調設備）	電気設備工事特記仕様書（２）	／　／　／	赤井	神原	内藤	内藤	

TBM TECHNICAL BUILDING MANAGEMENT　株式会社 ティビィエム（ティビィエム環境設備設計事務所）
鳥取県米子市目久美町３４番地２
鳥取県知事登録　第０８－８８８号　一級建築士事務所
管理建築士　一級建築士　第344020号（設備設計一級建築士　第4169号）　赤井　優

年月　２０２６．０９

図番　Ｅ－０２

頁 15 / 20 全



特記なき配管配線は下記による

EM−EEF2.0−3C（1Cアース）天井ころがし

室外機への接続は金属製可とう電線管 防水型にて接続を行う

動力設備　北側平面図　S＝1／100

鳥取県
令和8年度
J 2502167
総務部営繕課

工事名	図名	縮尺	管理建築士	査図	担当	作図	作図
県立倉吉東高等学校第一体育館改修工事（空調設備）	動力設備　北側平面図	1／100	赤井	神原	内藤	内藤	

TBM TECHNICAL BUILDING MANAGEMENT
株式会社 ティビィエム （ティビィエム環境設備設計事務所）
鳥取県米子市目久美町３４番地２
鳥取県知事登録　第０８－８８８号　一級建築士事務所
管理建築士　一級建築士　第344020号（設備設計一級建築士　第4169号）　赤井　優

年月　2026.09

図番　E——03

多目的
トイレ

既設分電盤
Ｌ－Ｔ１

玄関

男子W.C

前室

シャワー室

男子更衣室

ＥＭ－ＥＥＦ２．０－３Ｃ（１Ｃアース）室内機電源
ＥＭ－ＣＥ３．５°－３Ｃ（１Ｃアース）×２ 室外機電源

GHP 4-1 ×４

GHP 3-1 ×４

特記なき配管配線は下記による

——-/\/\-- ＥＭ－ＥＥＦ２．０－３Ｃ（１Ｃアース）ころがし

室外機への接続は金属製可とう電線管 防水型にて接続を行う

ステージ

UP

UP

器具庫２

壁貫通はつり補修

防火区画貫通処理

ＥＭ－ＣＥ３．５°－３Ｃ（１Ｃアース）×２ 室外機電源

プルボックスＳＵＳ製
２００×２００×２００

ＥＭ－ＣＥ３．５°－３Ｃ（１Ｃアース）（Ｇ２２）×２

プルボックスＳＵＳ製
２００×２００×２００

GHP 4

GHP 3

ＥＭ－ＣＥ３．５°－３Ｃ（１Ｃアース）（Ｇ２２）×２

S

手元開閉器盤２

記念館
ＥＭ－ＣＥ３．５°－３Ｃ（１Ｃアース）（Ｇ２２）×２

N

5,300 5,300 5,300 5,200 5,300 5,300 5,300 5,000

37,000

4 5 6 7 8 9 10 11 12

動力設備　南側平面図　Ｓ＝１／１００

鳥取県
令和８年度
Ｊ２５０２１６７
総務部営繕課

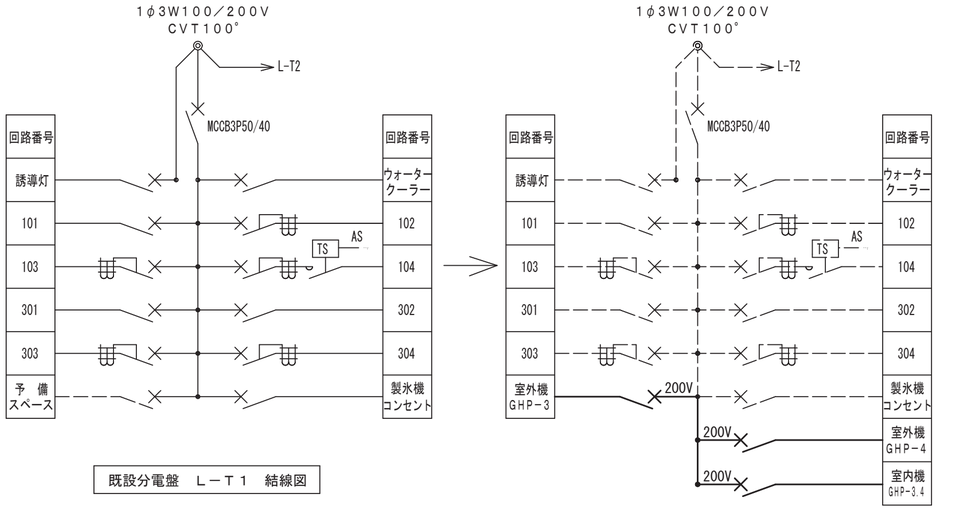
工事名	図名	縮尺	管理建築士	査図	担当	作図	作図
県立倉吉東高等学校第一体育館改修工事（空調設備）	動力設備　南側平面図	1／100	赤井	神原	内藤	内藤	

TBM TECHNICAL BUILDING MANAGEMENT
株式会社 ティビィエム （ティビィエム環境設備設計事務所）
鳥取県米子市目久美町３４番地２
鳥取県知事登録　第０８－８８８号　一級建築士事務所
管理建築士　一級建築士　第344020号（設備設計一級建築士　第4169号）　赤井　優

年月　２０２６．０９

図番　Ｅ ―― ０４

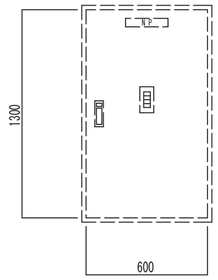
頁 17 / 20 全



既設分電盤　Ｌ－Ｔ１　結線図

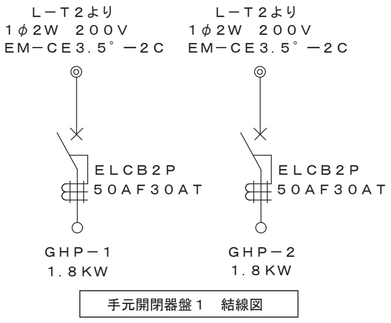
既設分電盤　Ｌ－Ｔ１　改修後　結線図

内扉パネルカットを行う。
ＭＣＢ１Ｐ５０ＡＦ３０ＡＴ×３個

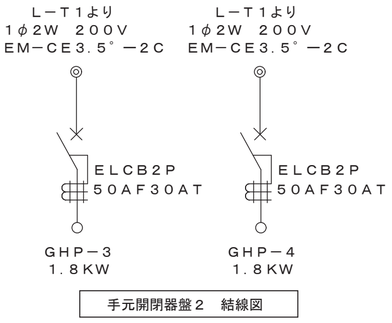


凡　例

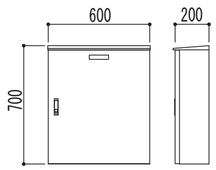
	MCCB2P50/20(100V)	CPU	伝送ユニット
200V	MCCB2P50/20(200V)	Tr. 100V/24V	リモコントランス
	ELCB2P50/20(100V)	Wh	電力量計
	電磁接触器　２Ｐ２０Ａ（片切）	TS	タイマー（２４時間停電補償）
▲	２線式リモコンリレー（片切）	AS	自動点滅器：建物外壁取付
▲ 200V	２線式リモコンリレー（両切）	SW	手元スイッチ（３，４路）：壁面等取付
△	フル２線式リモコンリレー（両切）		



手元開閉器盤１　結線図

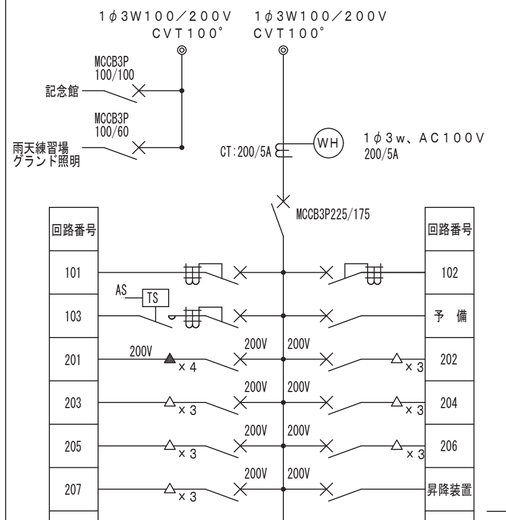


手元開閉器盤２　結線図



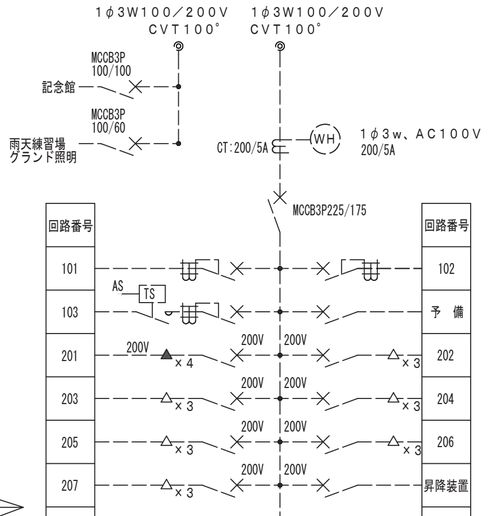
手元開閉器盤１２　参考姿図

屋外壁掛型（防雨型）
ＳＵＳ製(粉体焼付塗装)
図中形状・寸法は、参考とする



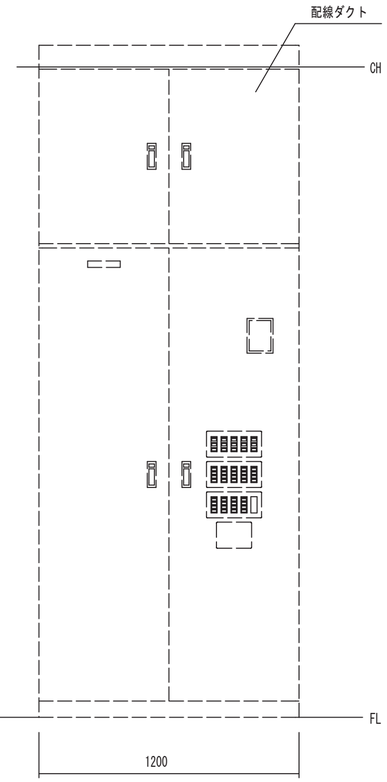
既設分電盤　Ｌ－Ｔ２　結線図

ＭＣＢ２Ｐ５０ＡＦ２０ＡＴ×３個　撤去



既設分電盤　Ｌ－Ｔ２　改修後　結線図

ＭＣＢ１Ｐ５０ＡＦ３０ＡＴ×３個



鳥取県
令和８年度
Ｊ２５０２１６７
総務部営繕課

工事名	図名	縮尺	管理建築士	査図	担当	作図	作図
県立倉吉東高等学校第一体育館改修工事（空調設備）	既設分電盤　改造　結線図 手元開閉器盤　結線図	／　／　／	赤井	神原	内藤	内藤	

TBM TECHNICAL BUILDING MANAGEMENT
株式会社 ティビィエム（ティビィエム環境設備設計事務所）
鳥取県米子市目久美町３４番地２
鳥取県知事登録　第０８－８８８号　一級建築士事務所
管理建築士　一級建築士　第344020号（設備設計一級建築士　第4169号）　赤井　優

年月　２０２６．０９

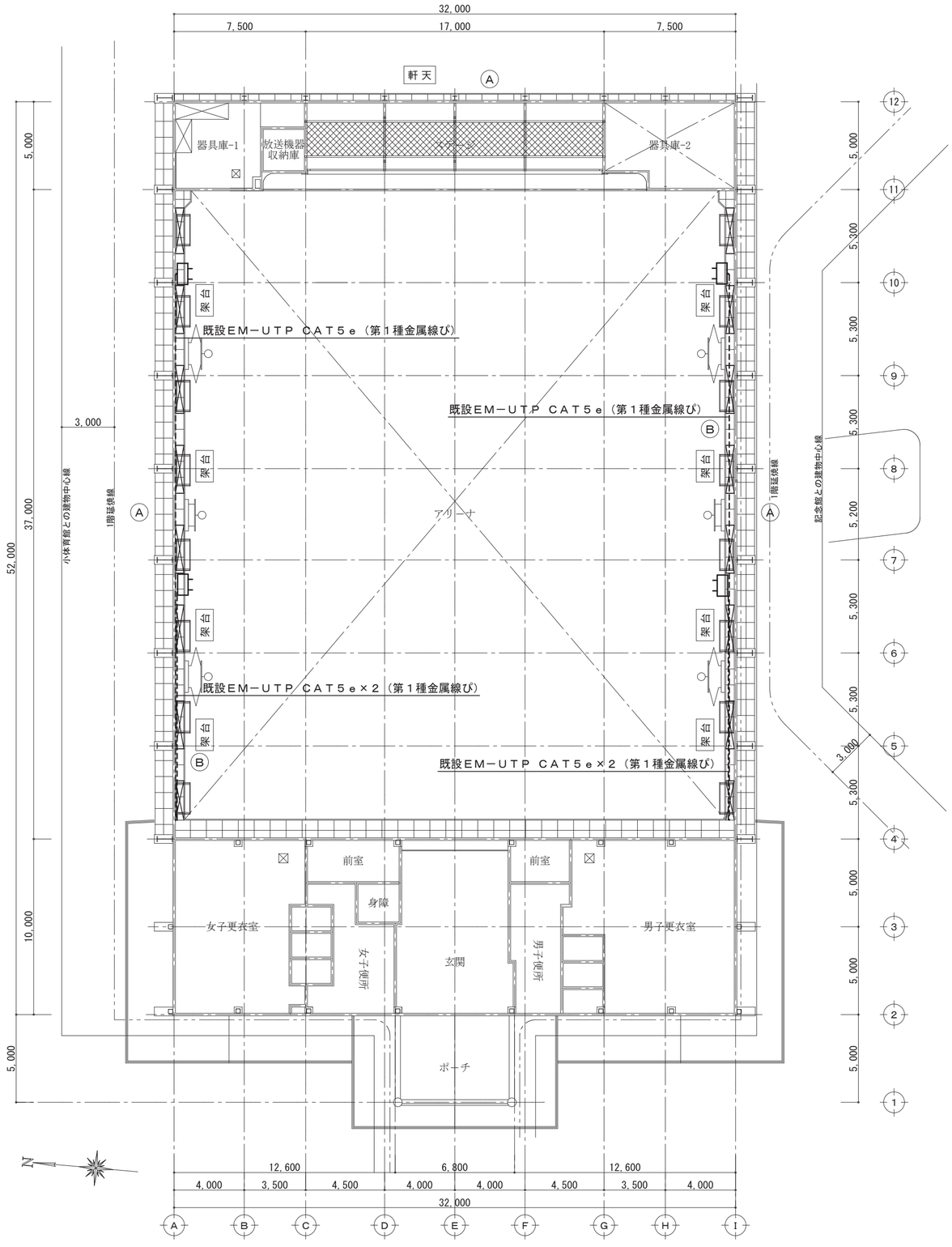
図番　Ｅ－０５

頁 18／20 全

軒 天	仕上・施工方法（建築工事）
Ⓐ	[改]EP塗装 (ｹｲｶﾙ板6t(延焼部12t) 目透張 LGS下地)
Ⓑ	[改]有孔ｹｲ合板5.5t 目透張 EP塗装 (米栂廻縁 ｸﾞﾗｽｳｰﾙ50t LGS下地)
	エアコン架台設置位置を示す
	天井材撤去改修範囲

既設無線アンテナ　取外し再取付（ガード共）付

室内機架台設置個所の軒天天井材撤去に伴い
ＵＴＰケーブルは取外しを行い、天井複旧前に天井内配線を行う。
第１種金属線ぴは撤去する。



構内情報通信網設備　平面図　Ｓ＝１／２００

工事名	図名	縮尺	管理建築士	査図	担当	作図	作図	
県立倉吉東高等学校第一体育館改修工事（空調設備）	構内情報通信網設備　平面図	1／200	赤井	神原	内藤	内藤		

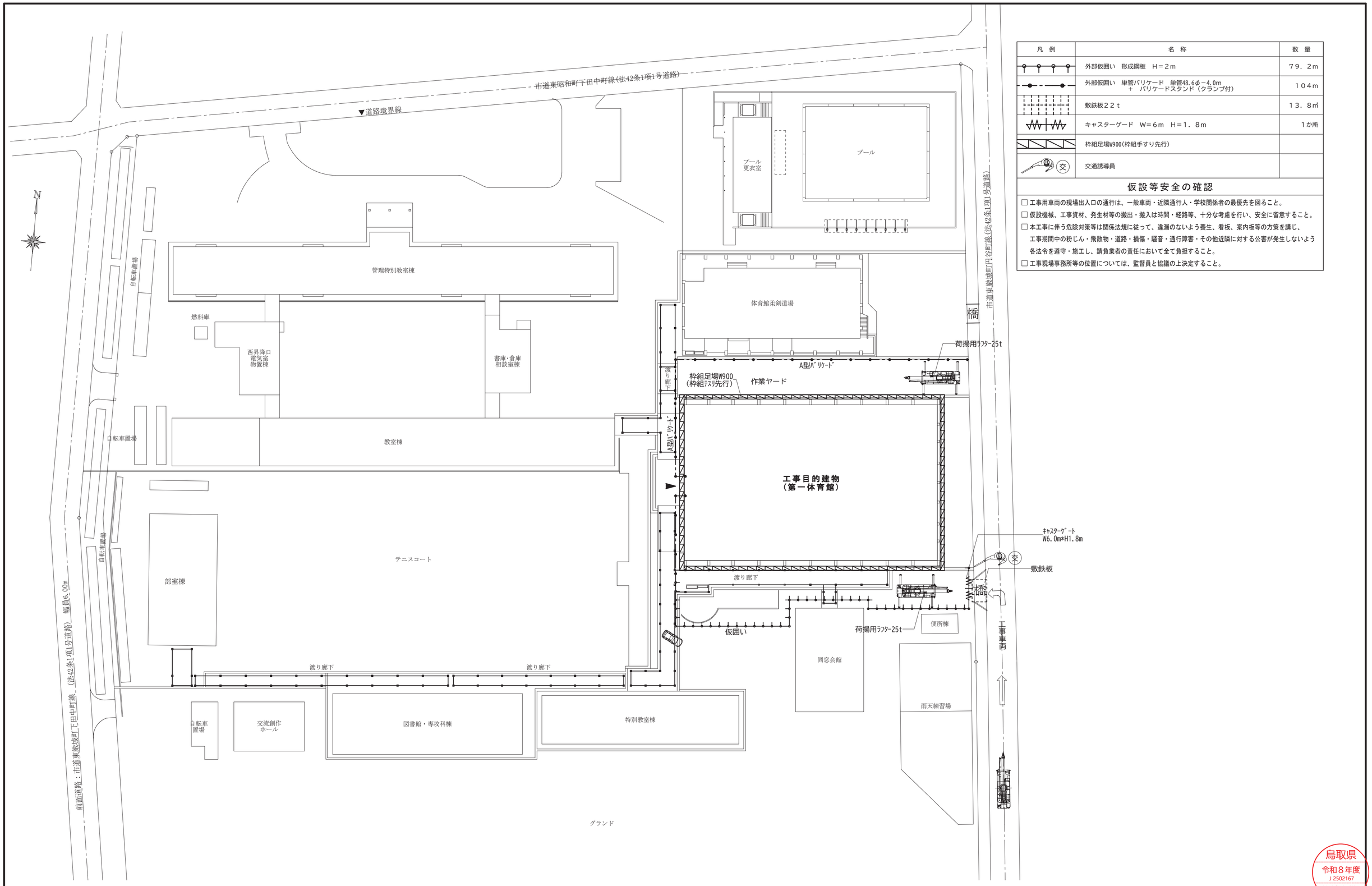
TBM TECHNICAL BUILDING MANAGEMENT
株式会社 ティビィエム （ティビィエム環境設備設計事務所）
鳥取県米子市目久美町３４番地２
鳥取県知事登録　第０８－８８８号　一級建築士事務所
管理建築士　一級建築士　第344020号（設備設計一級建築士　第4169号）　赤井　優

年月　２０２６．０９

図番　Ｅ－０６

頁 19／20 全

鳥取県
令和８年度
J 2502167
総務部営繕課



凡 例	名 称	数 量
	外部仮囲い 形成鋼板 H＝2m	79．2m
	外部仮囲い 単管バリケード 単管48.6φ－4.0m ＋ バリケードスタンド（クランプ付）	104m
	敷鉄板22ｔ	13．8㎡
	キャスターゲード W＝6m H＝1．8m	1か所
	枠組足場W900(枠組手すり先行)	
交	交通誘導員	

仮設等安全の確認

- □ 工事用車両の現場出入口の通行は、一般車両・近隣通行人・学校関係者の最優先を図ること。
- □ 仮設機械、工事資材、発生材等の搬出・搬入は時間・経路等、十分な考慮を行い、安全に留意すること。
- □ 本工事に伴う危険対策等は関係法規に従って、違漏のないよう養生、看板、案内板等の方策を講じ、工事期間中の粉じん・飛散物・道路・損傷・騒音・通行障害・その他近隣に対する公害が発生しないよう各法令を遵守・施工し、請負業者の責任において全て負担すること。
- □ 工事現場事務所等の位置については、監督員と協議の上決定すること。

工事名	図名	縮尺	管理建築士	査図	担当	作図	作図
県立倉吉東高等学校第一体育館改修工事（空調設備）	仮設計画図（別途建築工事参考図）	1/500	赤井	神原	細木	細木	

TBM TECHNICAL BUILDING MANAGEMENT
株式会社 ティビィエム （ティビィエム環境設備設計事務所）
鳥取県米子市目久美町３４番地２
鳥取県知事登録 第０８－８８８号 一級建築士事務所
管理建築士 一級建築士 第344020号（設備設計一級建築士 第4169号） 赤井 優

年月 2026．09

図番 A ―― 01

頁 20 / 20 全

鳥取県
令和8年度
J 2502167
総務部営繕課